日本とスペインをつなぐ無料スペイン情報誌［アクエドゥクト］
www.acueducto.jp

acueducto

2017
28
28-febrero

「つくるガウディ」を見に行く

Making Gaudi

スタッフは全員留学経験者
入学手続きを無料で代行！ スペイン留学.jp

スペイン・中南米 留学セミナー

大阪 東京

参加者プレゼント
スペイン留学.jp オリジナル
エコバック・ノートブックをプレゼント！

いつかスペイン語圏に
留学してみたいな～というあなたへ！
お気軽にご参加下さい♪

都市、学校･コース、滞在方法、費用、
学生ビザ準備方法などを
詳しくご説明いたします。

大阪 各回定員6名

日時：3/11(土)10:00～
3/31(金)19:00～

場所：有限会社 ADELANTE
〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館 2F
お問い合わせ：☎06-6346-5554
最寄り駅:JR大阪駅「桜橋口」徒歩5分

東京 各回定員8名

日時：4/15(土)10:30～ / 14:00～
4/16(日)10:30～ / 14:00～

場所：新宿セミナーオフィス　ルームS1
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28　大木戸ビル4F
お問い合わせ：☎03-6869-6435
最寄り駅:地下鉄丸ノ内線「新宿御苑前2番出口」徒歩3分･「四谷三丁目2番出口」徒歩3分

セミナーとカウンセリングは完全事前予約制です。参加ご希望の方は必ず事前にお申込下さい。

www.spainryugaku.jp　info@spainryugaku.jp

お電話でのお問い合わせの受付時間：月～土 8:30～21:30　有限会社 ADELANTE

スペイン語 ADELANTE www.adelante.jp

¡Vamos a estudiar español!

スペイン語レッスン

無料体験レッスン ご予約はこちら

スペイン語教室アデランテ（JR大阪駅「桜橋口」徒歩5分）
TEL: 06-6346-5554　受付時間：月～土8:30～21:30
info@adelante.jp　www.adelante.jp

アデランテで学ぶ 理由 razón 1
スペイン語に特化した教室

だから、教室の中はスペイン一色！スペイン直輸入の書籍もたくさん販売しております。

アデランテで学ぶ 理由 razón 2
講師は全員ネイティブ

だから、留学気分でスペイン語を学習できます。

フレンドリーな講師と
スタッフがお待ちしています♪

アデランテで学ぶ 理由 razón 3
グループレッスン振替制度あり

だから、欠席しても安心です。事前にお知らせいただければ、他のクラスのレッスンを受講いただけます。

アデランテで学ぶ 理由 razón 4
イベントもりだくさん♪

だから、生徒さん同士の交流も盛んです。皆さんスペイン・中南米好きなのですぐに仲良くなれますよ！

毎年お花見や
クリスマス会など
開催しています

新規開講
入門クラスの
ご案内
2017 Abril

2017年4月開講（各クラス定員4名）

火曜日 11:30-12:20（2017年4月11日～6月27日）
火曜日 20:30-21:20（2017年4月11日～6月27日）
木曜日 19:30-20:20（2017年4月13日～6月29日）
土曜日 10:30-11:20（2017年4月15日～7月1日）
土曜日 13:30-14:20（2017年4月15日～7月1日）

1レッスン：50分
受講料：全12回 44,160円(税込) ※分納可
教材費：1,944円(税込)
初心者の方対象の新しいクラスなので
スペイン語が全くはじめての方でも安心♪

入会金OFF!
~~16,400円~~
(2017年4月末まで)

※定員になり次第締め切りますのでお早めにお申込ください。

Sumario

2 特集　愛知県常滑市INAXライブミュージアム10周年特別展
「つくるガウディ」を見に行く
文･写真　INAXライブミュージアム

11 スペインで浸透、進化する日本の食
文　中村美和　写真　山澤伸

16 パンとチーズとワインがあれば - スペイン料理あれこれ話 vol.6
Potaje de Vigilia　文･写真　渡辺万里

21 第56回国際パエリアコンクール出場レポート
文･写真　森下幸二

22 日西商業会議所
ニハールは映画に在る

24 スペイン留学.jp
中南米の国紹介「Perú」

28 ADELANTEのスペイン語レッスン

初級　スペイン語で話そう　Lección 10
何をお求めですか？ / いくらですか？

実践　Español práctico vol. 4
服･靴のサイズ表

中級　スペイン語講座 Lección 28
時の接続詞cuando等の表現について　文　仲井邦佳

上級　ビジネススペイン語 vol. 9
スペイン語の表現に該当する日本語を文脈から理解する　文　伊藤嘉太郎

36 Lost in translation: Las desventuras de un granadino en una estación de bomberos japonesa
ロスト･イン･トランスレーション: 日本の消防署でのグラナダ人の不幸
文　Antonio Gil de Carrasco

39 カンテを楽しむ　文･写真　篠田有史

42 音楽の時間
ガルシア･ロルカと音楽 その3　文　下山静香

44 HISTORIA DE HISTORIAS
スペイン内戦が生んだ「ロバート･キャパ」第14話　文　川成洋

46 西宮市国際交流協会 スペイン語おしゃべりの会 活動報告　文･写真　谷善三
スペイン小橋　第9回　文･写真　土屋寛子

47 スペインのお勧めバール･レストラン vol. 14　文･写真　中村美和

Estimados Señores
ー読者の声ー

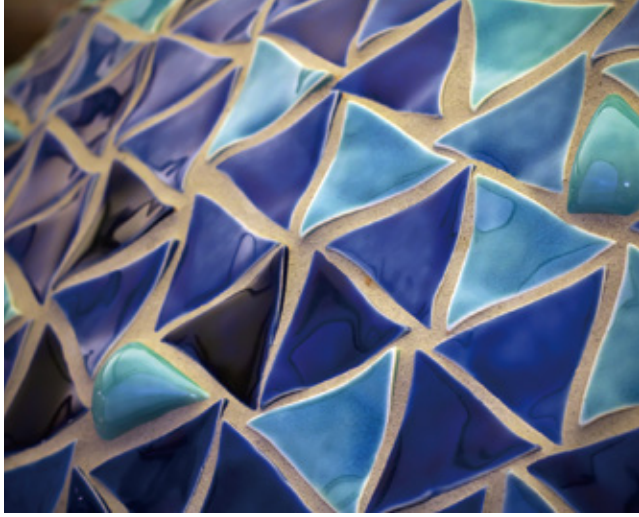
acueducto 編集部では、皆さまからのメール・お便りを募集しています。スペイン情報誌 acueducto へのご意見・ご感想のほか、スペインにまつわるエピソードもお寄せ下さい。

1. お名前（ペンネーム）※匿名希望の場合は、その旨を明記下さい
2. お住まい
3. ご連絡先
4. メッセージ

写真入りのお便り・メールも大歓迎です

宛先：
有限会社 ADELANTE
〒530-0001　大阪市北区梅田 2-5-8 千代田ビル西別館 2F
info@acueducto.jp

・お寄せいただいたメッセージは、これからの誌面制作の参考にさせていただきます。また、acueducto 誌面や弊社ホームページ、宣伝物に掲載させていただく場合がありますので、掲載を希望されない場合は、「非公開希望」と明記下さい。なお掲載にあたっては、文章の一部削除・変更させていただく場合がありますのでご了承下さい。
・いただいた個人情報は上記以外の目的では使用致しません。
・お便り・メールへの個別のお返事は差し上げておりません。
・お送りいただきましたお便り・写真は返却致しません。あらかじめご了承下さい。



acueducto 28

スペイン無料情報誌
febrero 2017 vol.28
printed in Japan / FREE PAPER
表紙写真：愛知県常滑市 INAX ライブミュージアム 10 周年特別展「つくるガウディ」で制作されたタイル

発行元：
有限会社 ADELANTE
〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-8 千代田ビル西別館 2 F
Tel：06-6346-5554　Fax：06-6110-5122
info@acueducto.jp
www.acueducto.jp

ADELANTE Co., Ltd
2FL. Chiyoda Bldg. West Annex 2-5-8 Umeda Kita-ku Osaka
530-0001 Japón

www.facebook.com/acueducto.japon
@acueducto_japon
Asociación Cultural Española スペイン文化協会

本誌の無断複写（コピー）は著作権法上での例外を除き、禁じられています。本誌の内容および広告に関しては、発行元の責任の限りではありません。

Director：
Shoji Bando / 坂東省次

Editor：
Alejandro Contreras / コントレラス・アレハンドロ

Coordinación：
Nagisa Miyata / 宮田渚

Diseño：
Koichi Hayashi / 林コイチ

Colaboradores en este número：
Kaname Ikemoto / 池本かなめ
Yoshitaro Ito / 伊藤嘉太郎
Yo Kawanari / 川成洋
Elena Contreras / コントレラス・エレナ
Yuji Shinoda / 篠田有史
Shizuka Shimoyama / 下山静香
Zenzo Tani / 谷善三
Hiroko Tsuchiya / 土屋寛子
Kuniyoshi Nakai / 仲井邦佳
Miwa Nakamura / 中村美和
Antonio Gil de Carrasco / ヒル・デ＝カラスコ・アントニオ
Koji Morishita / 森下幸二
Mari Watanabe / 渡辺万里

Colaboradores:

スペイン政府観光局 www.spain.info

INAXライブミュージアム10周年特別展

「つくるガウディ」を見に行く

Making Gaudi

撮影(P2・P3):梶原 敏英

Sentir en mente y cuerpo,
el mundo de Gaudí.

心と体で感じる ガウディの世界へ

19世紀から20世紀初頭にスペインで活躍した建築家アントニオ・ガウディ(カタルーニャ語:Antoni Plàcid Guillem Gaudí/1852-1926年)。「デザイン」や「建築」という言葉だけでは語り尽くすことのできない独創的な形と、100年以上に及びいまもなおつくられ続けているサグラダ・ファミリアの存在は、芸術家の創造への意欲を誘発し、立場を問わず世界の多くの人たちの心をゆさぶり続けています。
ガウディ建築は、石やタイルなど素材の使い方や工法の細部を見ていくと、構想や設計図面をただ忠実に再現したものではなく、現場の職人たちに任せたり、おそらく彼らとの対話によってできたと思われる部分を感じとることができます。
本展「つくるガウディ」の舞台となるのは、愛知県常滑市の株式会社LIXILが運営する文化施設、INAXライブミュージアム。土と水と火が出会い、ものづくりの心を伝えてきたこのミュージアムは、2016年で10周年を迎えました。
本展では、ガウディ建築を人の手で「つくる」視点から紐解くとともに、建築家と職人が、土やタイルなど伝統素材の表現の可能性を公開制作によるライブで探っていきます。

【展示概要】

第1会場
「つくるガウディ−塗る、張る、飾る!」

建築家、左官職人、タイル職人による、建築作品の公開制作を会期中(2016年11月5日〜2017年3月31日)にわたり行っています。建築家・日置拓人がガウディ未完の建築「コロニア・グエル」から着想を経た形を設計し、左官職人・久住有生の土とタイル職人・白石普のタイルで仕上げていきます。

第2会場
「つくるガウディ−実測で読み解く」

約40年にわたってガウディ建築を実測し、手描きによる図面制作を行ってきた田中裕也の実測図面を展示。厖大な歳月をかけて、自らの身体による実測から見えてきたガウディ建築を解説していきます。

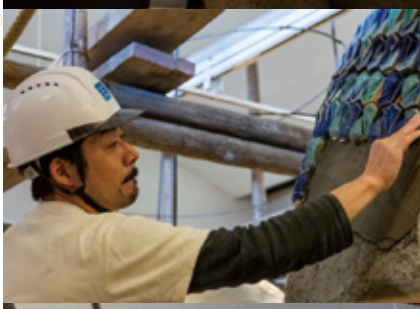
Colonia Güell

第1会場「つくるガウディ―塗る・張る・飾る！」

撮影：梶原 敏英

日本の〝アルテサノ〟、ガウディをつくる

Artesanos japoneses

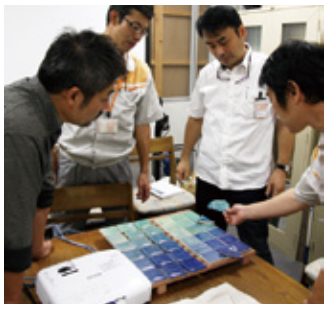


撮影：梶原 敏英

基礎の鉄筋組み立て

今回、特別展で制作するのは、ガウディが10年間の逆さ吊り実験で建築構造を導き出しながら、地下聖堂だけの建設となった「コロニア・グエル教会(1914)」の上部。建築家・日置拓人さんが、ガウディの残したスケッチや実験資料などから構造体を設計しました。スケールは4分の1。ガウディがレンガを積もうと考えていたのに対し、今回は鉄筋と金具の基礎。それが塗り壁やタイルで装飾され、ガウディとはまったく異なる造形が展示室に広がっています。

タイルの制作



タイル職人の白石普さんが張るタイルはすべて、今回のために作られたオリジナル。白石さんが自分の工房で作った試作品をもとに、INAXライブミュージアム内にある「ものづくり工房」で量産しました。最初に作ったタイルは2つの形。コバルトと酸化銅の配合の違いで、7つのカラーバリエーションを作ります。さらに釉薬を表と裏に付け分けることで、2倍のタイルの種類ができました。

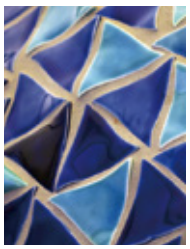
左官作業

土などの材料をすべて用意して来た久住さんは、現場を見ると、予定していた外壁の色を変更。急きょ、トラックで土を買いに走りました。

「土・どろんこ館の版築の壁のような色を考えていたけれど、日本らしさを出しながらタイルを活かす、ちょっとくすんだ白色にしようかなと。その時、いちばん良いと思った仕事をしたいじゃないですか。ライブミュージアムは自由な場所やから」と、久住さん。

タイル張り作業

「左官は自分で塗りながら建物の表情を変える。職人としては理想だね。そういうタイルを作ってみたかった」と、白石さん。その言葉の意味は、白石さんの作業が進むにつれてわかっていきます。「今回のタイルは、裏を丸くしたことによって、いろいろな張り方ができます。平らにしたり、尖った感じにしたり、動きが出せる。左官が土の表情を変えるように、タイルでも表情が変えられる。さまざまな立体感も出せる。それはこのタイルならでは。張っていると、もっとこのタイルの可能性を考えることができる」と、白石さん。



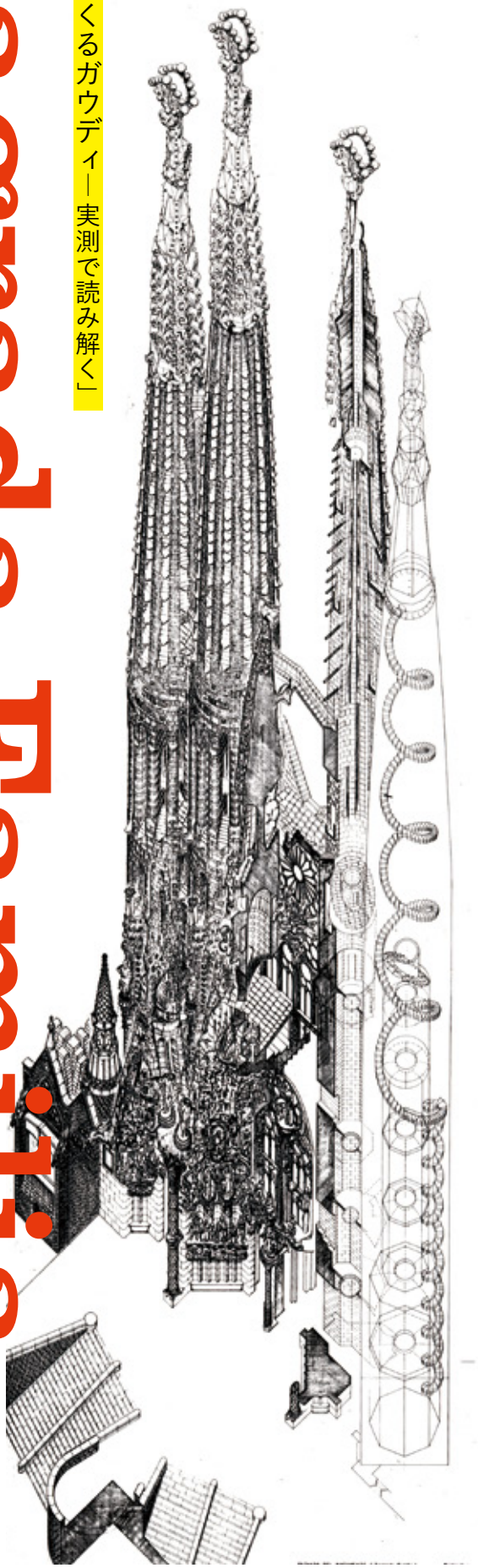
タイルの色は、ブルーからグリーンのグラデーション。「やきもので一番きれいな色」とのこと。

「コロニア・グエル教会」　西側断面図
（田中裕也 実測図）

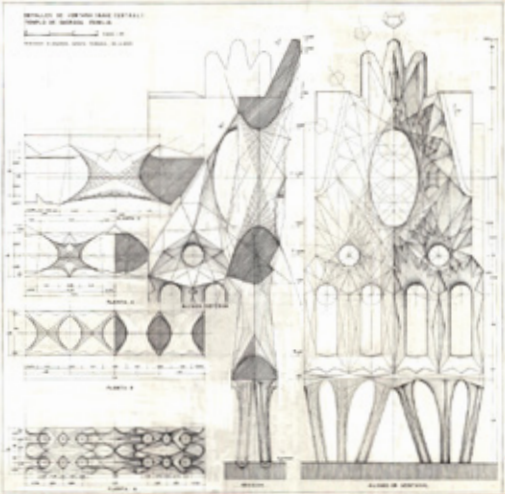
第2会場「つくるガウディ―実測で読み解く」

Sagrada Familia

実測家・田中裕也、ガウディを語る



サグラダ・ファミリア教会　誕生の門　断面アイソメ図



サグラダ・ファミリア教会　立面図

ガウディ・ショック

初めてサグラダ・ファミリアを見た時、感動というより、打ちのめされた。カルチャーショックでした。もう建築やめようと思ったほど。でも、その後何年たっても、ガウディが頭から抜けない。ならば、この最大級におかしな建築を追求してみようと、スペインに渡りました。

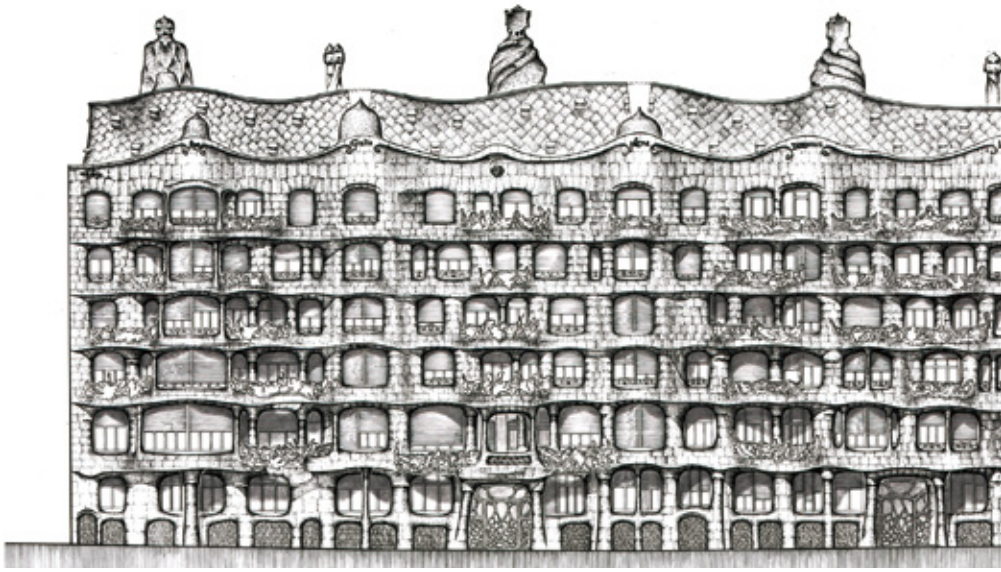
階段から始まった実測

現地に行ったものの言葉もわからない。しばらくはグエル公園に毎日通って、階段に座って悩んでいました。まあしょうがない、測ることくらいならできるかなと、測り始めたのが、その階段。実測してスケッチして、何度も描いているうちに絵が大嫌いだったのが、その気になってきた。嫌いなことを変えてしまうくらいの面白さがありました。その後、カサ・バトリョ、カサ・ミラ、そしてサグラダ・ファミリアと実測を続けました。いつも階段から。この階段、次の階段と測っているうちに、動線や間取りが見えてきて、内部空間が立ち上がっていく。それをアイソメ図や立面図にする。階段をたどっていけば全体の空間が把握できる。偶然にして、そのやり方が正解だったのです。

実測・作図から見えてきたもの

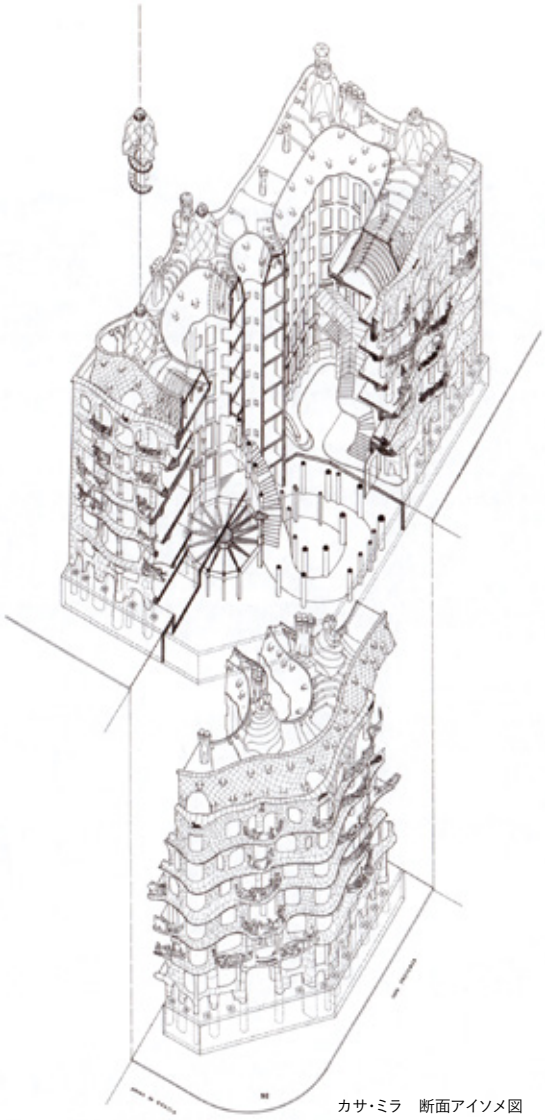
ガウディは、内部の生活空間に細やかな工夫をしている。それも実測と作図から見えてきたことです。たとえばカサ・ミラ。どの面もすべて曲線。測るには常識を越えた建物です。そこでファサードの曲線と影のかたちを同じ時間帯でスケッチすることで建物の様子をつかみ、そこから目地と窓の関係を把握することにした。目地をたどって影のかかり具合を観察して立面図にすれば、外壁や柱の形状が見えてくる。へこんでいればより影が落ちますね。実際部屋に入ると、窓が大きいからすごく明るい。だけど影が落ちているから、やわらかい光になっている。スペインの日射は強い。ガウディは日焼けを避けるため、明るさを確保しながら焼けない仕組みを考えた。壁面の、はね出しの部分、互い違いになっているでしょう。部屋によって影の落ち方を変えるためです。そうやって内部空間を心地よくしたのです。

第2会場では田中裕也氏による実測図面を展示。
ガウディ建築を実測図から読み解きます。



カサ・ミラ 側面図

Casa Milà



カサ・ミラ　断面アイソメ図

装飾の真の意味とは

実測をすすめるうちに、僕はガウディの本心に気付きました。ガウディにとって装飾は単なる飾りではない。言い換えれば、そこにある装飾は取り払うことができない意味あるもの。ある物は施主のアイデンティティを指し示し、ある物は構造的な意味を持ち、ある物はその地域や歴史を物語る。きちんとしたストーリーがあって、ガウディは装飾をつけた。ガウディの建築には、単に建築論、空間論では語りきれない物語がある。僕は、その一つひとつを実測することで、ガウディが散りばめたコードを発見し、発見することで、さらに実測のパワーを得てきた。そんなふうにやり続けてきたのです。

まだ見ぬガウディ・コードを追って

ガウディは天才でしょうか。僕はそうは思わない。一人の人間として、ガウディも格闘し成長しながら作品をつくりあげた。そこにはガウディと仕事をすることを生き甲斐とする多くの職人がいた。建築は決して一人でできるものではないのですから。ガウディが建築に込めたガウディ・コード。まだまだ新しいものをみつけますよ。僕にとってガウディは、いつも傍らにいる無二の親友みたいな存在かもしれません。

El Capricho

エル・カプリチョ 東側立面図

会場で展示されている、エル・カプリチョの壁面を飾るひまわりのタイル。

カンタブリア州コミージャスにあるエル・カプリチョは1883年から1885年にかけて建設されたガウディの初期作品。建物の外壁にひまわりの花と葉があしらわれた陶製のタイルが施されています。現在は建築博物館となり内側、外側、庭を見学することができます。

Perfil

日置 拓人

TAKUTO HIKI

建築家

1969年、神奈川県生まれ。早稲田大学理工学研究科建設工学修士修了のち、左官職人・久住章に師事。土や漆喰をはじめ、自然素材を活かした設計を行う。INAXライブミュージアムでは「土・どろんこ館」(第12回人にやさしい街づくり賞、グッドデザイン賞、中部建築賞)をはじめ、「建築陶器のはじまり館」「テラコッタパーク」(愛知まちなみ建築賞)などを設計した。

久住 有生

NAOKI KUSUMI

左官職人

1972年、兵庫県淡路島生まれ。祖父の代から続く左官の家に生まれる。18歳で親元を離れ、各地で修行し、23歳で久住有生左官設立。ドイツ、フランス、日本(京都)などで左官技術を磨き、個人住宅から、商業施設、ホテル、そして歴史的建造物の修復の仕事まで幅広く手がける。INAXライブミュージアム「土・どろんこ館」では、320トンの土を突き固めた版築をはじめ、さまざまな技法を駆使し表現した。

白石 普

AMANE SHIRAISHI

タイル職人

1970年、東京都生まれ。幼少より美術、芸術に親しみ、20歳のときに1年間イタリア・ギリシャ各地を歴遊、ローマ遺跡やビザンチン建築に興味を持ちタイル職人となる。のちイスラムの幾何学モザイクに魅せられモロッコ・フェズのモザイク工房で2年間修行、モスク建設などに携わる。デザインからタイル制作、施工まで行う。

田中 裕也

HIROYA TANAKA

実測家・建築学博士

1952年北海道生まれ。3年間の建築事務所勤務の後 1978 年バルセロナに渡り、ガウディ建築の実測を開始。現在に至るまで主要な建築物の実測図を描き続ける。実測図面は展示や著書などで公開され、その功績はスペインで高く評価されている。著書に『実測図で読むガウディの建築』(彰国社、2013)ほか。

撮影(プロフィール写真):森本 徹

INAXライブミュージアム10周年特別展

「つくるガウディ」

2016年11／5(土)～
2017年
3／31(金)まで

開催中

公開制作完成披露展示

2017年
4／15(土)～5／30(火)

詳細はHPにてご案内いたします。

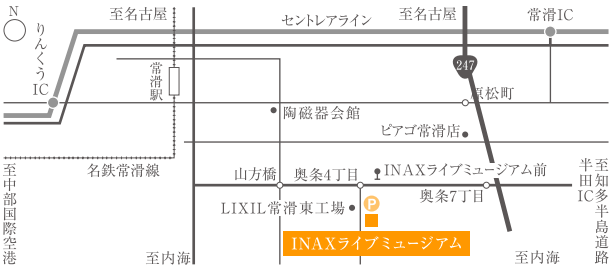
http://www1.lixil.co.jp/ilm/

INAXライブミュージアム

〒479-8586　愛知県常滑市奥栄町1-130
TEL 0569-34-8282　FAX 0569-34-8283
http://wwwl.lixil.co.jp/ilm/

PART OF LIXIL

■開館時間 / 10:00am-5:00pm(人館は4:30pmまで)
■休館日 / 第3水曜日(祝日の場合は翌日)、
2017年4月より毎週水曜日(祝日の場合は営業)に変更、
年末年始
■共通入館料 / 一般600円、高・大学生 400円、
小・中学生 200円（税込み、各種割引あり）
■アクセス
□バス
名鉄線「常滑駅」または中部国際空港より、知多バス「知多半田駅」行き
「INAXライブミュージアム前」下車徒歩2分
□お車［乗用車・バス駐車場完備］
・名鉄線「常滑駅」より約6分
・中部国際空港より約10分(「りんくうIC」降りる)
セントレアライン(名古屋方面から)「常滑IC」より約7分
・知多半島道路「半田IC」より約15分



INAXライブミュージアムは、(株)LIXILが運営する文化施設です。

www.enforex.com

スペインとラテンアメリカにて

最先端を行くスペイン語学校

創立 1989年

Enforex

Enforex · Centro de Estudios Internacionales

認定校:

Instituto Cervantes
Centro Acreditado

12
スペインの
アカデミック
センター

10
スペイン、
メキシコ、
コスタリカでの
サマーキャンプ

20
ラテン
アメリカの
研修都市

32
スペインでの
大学、
ファウンデーション
プログラム

ヘッドオフィス
Alberto Aguilera, 26 | 28015 Madrid
Phone: +34 91 594 37 76
Fax: +34 91 594 51 59
E-mail: asia@enforex.es

ideal education group

アリカンテ | バルセロナ | カディス | グラナダ | マドリッド | マラガ | マルベージャ | パンプローナ | サラマンカ | セビージャ | テネリフェ | バレンシア（スペイン）
アルゼンチン | ボリビア | コロンビア | コスタリカ | チリ | キューバ | ドミニカ共和国 | エクアドル | ガテマラ | メキシコ | ペルー（ラテンアメリカ）

GASTRONOMÍA JAPONESA ;
EXPANSIÓN Y EVOLUCIÓN EN ESPAÑA

スペインで浸透
進化する日本の食

世界最高峰のシェフや最新の食材が集結する食の祭典マドリード・フュージョン開催の翌1月26日、同じくマドリード市内で「日本食の日Taste of Japan in Spain」が開催された。スペインの料理人やディストリビューター、ジャーナリストなどの食関係者およそ100名がPLATEA MADRIDへ招待され、スペインにおける日本食をテーマにしたパネルディスカッションや和牛と日本米のデモンストレーション、利き酒などを通じて、日本食と日本産食材の魅力がPRされた。

この「日本食の日」事業は、海外での日本食普及を目的とした農林水産省による事業で、2015年からワシントンD.Cなどで実施されてきたもので、今回欧州では初めてスペインの首都マドリードで開催された。

水上正史在スペイン日本大使、
農林水産省の関屋英理子氏、
Taste of Japan in Spain協
議会による鏡開き

司会者も着物姿でイベントに
花を添えた

フェラン・アドリアら、功労者を表彰

この日、日本人として初めてスペインでミシュランの星を獲得したバルセロナ「Koy 旬香」のオーナーシェフ松久秀樹氏や、マドリード・フュージョンの国際関係ディレクターのエスメラルダ・カペル氏、日本食普及の親善大使ロジャー・オルトゥーニョ氏らで組織されたTaste of Japan in Spain協議会の推薦により、スペインで日本食普及に功績のあった人々にTaste of Japan Honorary Awardが授与された。

受賞者には、本格的な高知の懐石料理をマドリードで紹介したIZARIYAの岡添将人氏、スペインにおける日本料理の先駆者的「板前」として評価を集めるSoyのペドロ・エスピーナ氏の2名の日本料理の料理人以外にも、日本料理のスタイルや日本食材をいち早く自身の料理に取り入れ、世界の料理界にも多大なる影響を与えたとしてEl Bulliのフェラン・アドリア氏や、アンドニ・ルイス・アドゥリス氏のmugaritz、そしてマンガ「美味しんぼ」「壬生ブリ」などのスペイン語版を出版したNorma Editorialが選ばれた。

さらにもう1社、受賞者として忘れてはならないのは、スペインで初の日系のインポーターとして、長年スペインにおける日本の食文化を支えてきたTOKYO-YAの存在だろう。

スペインにおいて日本食普
及に貢献のあった6団体に
Taste of Japan Honorary
Awardが授与された

松久秀樹シェフと岡添将人シェフによる和牛と、
日本産米のデモンストレーションは会場を沸かせた

Gastronomía Japonesa : expansión y evolución en España

ステージでは、日本文化の紹介として行われた金剌敬大氏の和太鼓が観衆を魅了した

日本酒の試飲をする
スペイン人たち

スペインで日本酒ブームが起こせるか

今回、月桂冠、大関、男山本店、奥の松、浪之音の5つの蔵元をマドリードへ招聘し、1月23日から3日間開催されたマドリード・フュージョンと、このTaste of Japanで日本酒ブースを出展したTOKYO-YAの佐藤博伸氏によると、「本格的にスペインで日本酒を紹介しはじめて3年ほど経つが、反応は年々良くなってきている」という。

TOKYO-YAは、2016年にスペインで初となる日本酒バル「Shuwa 酒和」をオープンし、一般消費者向けに60種類以上の日本酒を紹介するほか、レストランや販売店などの業者向けにも日本酒レクチャーを実施するなど、スペインにおける日本酒エデュケーター的役割も担ってきた。

このように熱心な普及活動にも関わらず、「それでもスペインでの日本酒に対する誤解はまだ根強く残っている」と佐藤氏は語る。スペインでも“SUSHI”ブームに乗って、日本食レストランが急増しているが、そこで供される「日本酒」の質の問題や誤ったサーブ方法もあり、未だに「日本酒とはアルコール度数の高いリキュールであって、食事の最中に飲む物ではない」と考えるスペイン人は多い。

「これまで、質の低い日本酒を熱燗で出したり、食後酒としてショットで出したりするレストランがほとんどでした。ワインと違って無色透明なのも、蒸留酒という誤解を招いた要因の一つかもしれません」と佐藤氏は分析する。

佐藤氏はこういった状況を変えるために、まず一度飲んでもらうことを重視している。「一度飲んでもらいさえすれば、誤解は解ける」と日本酒という醸造酒の持つポテンシャルに自信を見せる。

実際、今回表彰されたバスクのレストランmugaritzをはじめ、日本料理以外のレストランであっても、ソムリエがドリンクのリストに日本酒を加える例も出始めている。ミシュランの星を持つレストランの中には、懐石料理などの和食にインスピレーションを得たスタイルや、日本食材を独自の感性で取り入れつつ進化させた料理も多く見られることからも、それらに合わせた飲み物として日本酒が取り入れられていくのも、ある意味で自然な流れでもあり、今後さらなる日本酒の需要拡大が見込まれる。

Taste of Japan 会場内のブースでは、30銘柄以上の日本酒の試飲が行われた

和牛の握り
松久氏による和牛(JA 全農)と富山産コシヒカリ、生わさびを使った握り

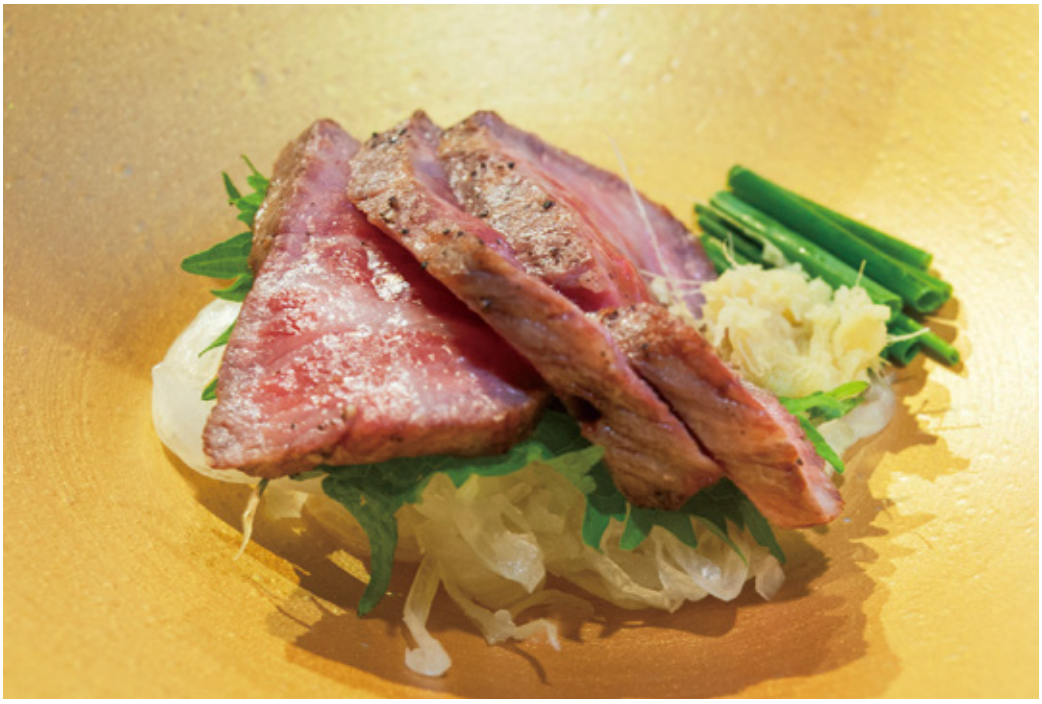
和牛と日本酒のマリアージュをスペインの食の専門家たちも堪能

国際化する日本の食と求められる人材

平成25年に農林水産省によって発表された「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」によれば、食文化・食産業のグローバル展開について、「日本『食』への支持を背景に、日本『食』の基軸となる食品・食材を、食市場の拡大が見込まれる国・地域へ輸出することにより、2020年までに1兆円目標を達成」を目標として掲げている。

これらの実現には、付加価値の高い日本産食品の生産は勿論のこと、それらの魅力を世界へ向けて発信できる人材、各国の事情や食文化は勿論のこと、日本の文化や伝統にも精通し、両方をマッチングさせることで新たな価値を生み出すことができる人材が欠かせない。

現在、海外を目指し外国語を学習中の人々は、海外にだけでなく自国の文化にも目を向け、魅力ある日本産品を世界へ広く普及させるべく日本の生産者の海外進出の一端を担うのも、日本人だからこそできる活躍の一つの形かもしれない。



和牛のタタキ
松久氏・岡添氏の両シェフによる和牛を使ったショークッキングでは、握り・タタキ・茶漬けが紹介された

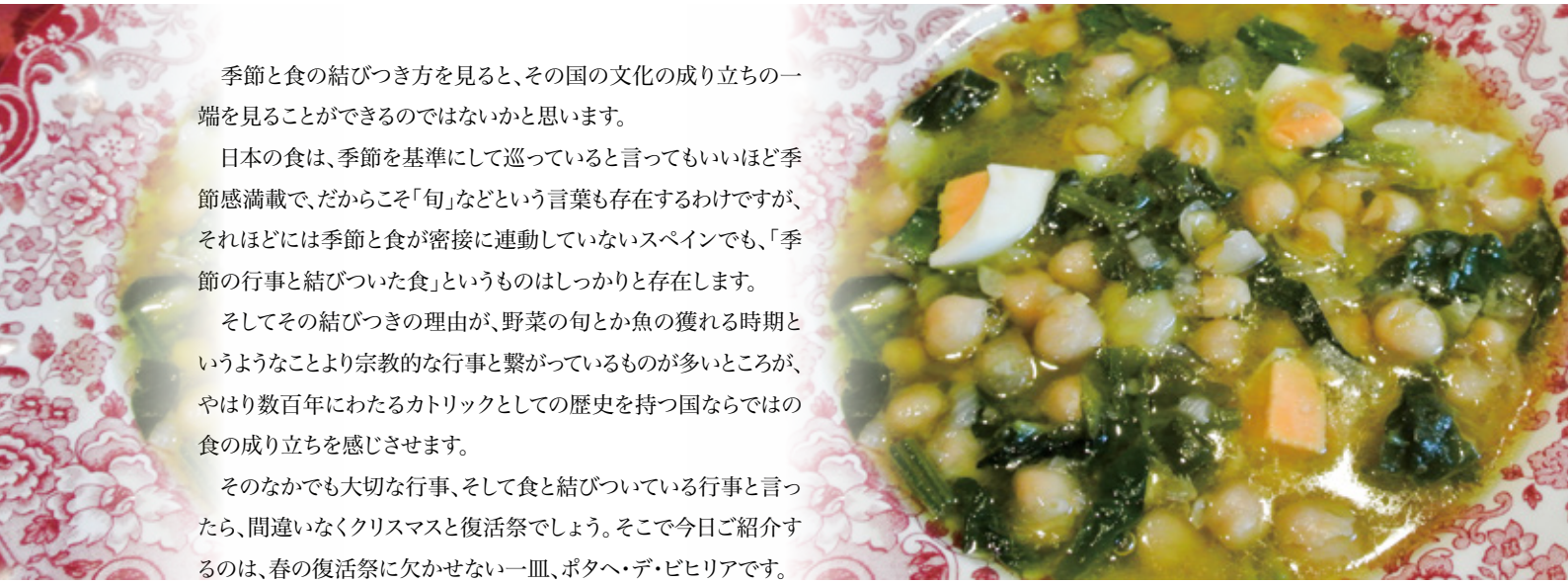
文　中村 美和(プロフィールはP47) / 写真　山澤 伸(P12-P15)

パンとチーズとワインがあれば、

スペイン料理あれこれ話

vol.6 Potaje de Vigilia

文・写真　渡辺万里



季節と食の結びつき方を見ると、その国の文化の成り立ちの一端を見ることができるのではないかと思います。

日本の食は、季節を基準にして巡っていると言ってもいいほど季節感満載で、だからこそ「旬」などという言葉も存在するわけですが、それほどには季節と食が密接に連動していないスペインでも、「季節の行事と結びついた食」というものはしっかりと存在します。

そしてその結びつきの理由が、野菜の旬とか魚の獲れる時期というようなことより宗教的な行事と繋がっているものが多いところが、やはり数百年にわたるカトリックとしての歴史を持つ国ならではの食の成り立ちを感じさせます。

そのなかでも大切な行事、そして食と結びついている行事と言ったら、間違いなくクリスマスと復活祭でしょう。そこで今日ご紹介するのは、春の復活祭に欠かせない一皿、ポタヘ・デ・ビヒリアです。

★スペイン版精進料理は魚料理？★

セマナ・サンタ（聖週間）は、春の訪れとほぼ同時期に訪れるカトリックの行事です。とはいえ、現代のスペインでは、その宗教的な意味合いは次第に薄れてきました。若い人たちに「セマナ・サンタとは？」と聞いたら「1週間続く春休みのこと」という返事が返ってくるかもしれません。それでも、その時に食べる伝統的な料理だけは、欠かせない習慣として人々の間に根強く残っている。そのあたりの変遷は、各国共通のものかもしれませんね。

復活祭の行事は正確にはクァレスマ（四旬節）と呼ばれ、つまり40日の期間を指すわけですが、そのハイライトがキリストのベツレヘム入場、磔、そして復活を頂点とする最後の1週間、つまりセマナ・サンタです。そしてこの聖なる週と四旬節の間の金曜日、キリストの受難に思いを馳せて肉食を慎み、精進料理を食べるというカトリックの定めから生まれたのが「コミーダ・デ・ビヒリア（精進料理）」なのです。

一昔前のスペインでは、復活祭だけでなく一年中、毎週金曜日には精進料理を食べるという信心深いカトリックの家庭も珍しくありませんでしたが、これも現代ではもう昔話。「下宿の献立が金曜日は魚と豆だから、帰るのが嫌だわ」などと話していた学生時代が、逆に懐かしい気もします。

さて、日本で精進料理というと野菜しか使ってはいけないイメージですが、魚も使ってもいいところがスペイン版の特徴です。かつて教会の権力がもっと強かった時代には、魚も使ってはいけない、乳製品もいけないという厳しい精進も存在したようですが、中世からの主な記録では、「野菜を中心として魚、乳製品は使って良い」というのがほぼ一般的な定義となってきているようです。

その違いは、日本とスペインの食の基盤の違いに根ざしているのではないでしょうか。日本では魚が主な動物性タンパク源だからこそ、それを禁じないと精進にならないし、スペインでは肉食が中心だから、それを禁じれば魚は許可しても十分精進になる、ということです。

そして、「金曜日には精進料理を食べなさい」とか「復活祭には肉は食べてはいけません」という教会からのアピールが人々に浸透していたということは、宗教が庶民の生活に対してそれだけの支配力を持っていた証拠でもあり、こういう習慣そのものが教会の権力誇示の一つの形であったということも、そこから想像できるわけです。さらに付け加えるなら、コミーダ・デ・ビヒリアの伝統が特に色濃く残っているのはエストゥレマドゥーラ地方なのですが、それも、この地方が修道院文化の拠点としてかつて繁栄を誇っていたことを知ると、頷くことができるわけです。

エストゥレマドゥーラのグァダルペという町は、かつて権勢を誇った巨大な修道院を中心とした小さな町ですが、ここの修道院は料理が美味しいことでも知られていて、修道院のお坊さんが出した料理の本があるほどです。ここの名物料理の一つは、今回ご紹介するポタヘと並んで、ニンニクや唐辛子風味の素朴なソースを加えて土鍋でグツグツ煮込んだタラ。今でも修道院付属の食堂で、金曜日のメニューに入っています。

また、カルロス1世が隠遁したことで知られるユステの修道院もエストゥレマドゥーラ地方にありますが、こちらの名物料理はタラをクリームソースで煮込んだもの。塩辛い料理が好きで晩年は痛風に悩まされたというカルロス1世も、精進の日にはこういうタラ料理を楽しんだことでしょう。やはりスペインの精進料理に魚は欠かせないようですね。

修道院のお坊さんのレシピ本。修道院の料理に人気が出てきていることが察せられる

左から、グァダルペの修道院と食堂。ポタへも名物。白いソースのかかった「タラのユステ風」は、カルロス１世も好きだった精進料理

復活祭の精進料理の色々。左から、タラのオーブン焼き、タラのクロケッタ、タラのブニュエロス、バスクのボルサルダ、タラのオムレツ

★“タラ、タラ、タラ！”★

それでは改めて、ポタへ・デ・ビヒリアの材料をチェックしてみましょう。

まず、なくてはならないのがガルバンソ。そもそも「ポタへ」というのは、「豆の入った煮込みスープ」のことなのです。精進でない普段のポタへは豚肉や腸詰類で味をつけることが多いのですが、いずれにしても、豆は必須。この場合はガルバンソです。

かつて、「ガルバンソを煮る湯気と仔羊を焼く煙を繋ぐと、スペインの食文化地図を描ける」という名言を残したスペインの食文化研究家がいましたが、それから1世紀以上たった今も、スペインの食のあらましはそれほど変わっていません。

スペインの内陸部で欠かせない貴重な植物性のタンパク源。どんな痩せた土地でも育つ便利な作物。紀元前にカルタゴ人がもたらしてくれてから長い年月の間、イベリア半島の食を支えてきてくれたガルバンソは、「安くて栄養がある」から、教会お気に入りの食材でもあったのです。ただしこの豆はなかなか頑固。ゆっくり戻してから煮込まないと柔らかくなりませんから、ご注意を。

そして、次になくてはならないのが、バカラオ・セコ。塩蔵して干したタラです。スペインでは、この干したタラの方が生のタラより一般的に使われるので、料理の世界でただ「バカラオ」と言ったら、干したタラのことを指すほど。逆に生のタラの時は「バカラオ・フレスコ」と断ります。

なぜそんなに、干したタラが重要なのか？その理由は「スペインの内陸部は海から遠い」からです。スペインは魚をよく食べる、シーフードがスペインの名物だと思っている方は、その既成概念を一度捨ててください。確かにスペインは三方を海に囲まれていて、ヨーロッパの中ではダントツに魚介類を食べる国ではあるけれど、それでもスペイン内陸部では、魚はあくまで贅沢品、なくても済む食材なのです。では、内陸でも常に入手できる魚は何か？それが、バカラオ・セコということになるわけです。

ですから復活祭に、スペイン内陸部で魚をメニューに使おうとすると、レパートリイはタラ尽くしということになります。タラの衣揚げ。タラのオムレツ。タラのクロケッタ。タラの煮込み。タラのオーブン焼き。そしてタラのポタへ。そこに、トリッハスという余ったパンで作るデザートを加えれば、「修道院・教会ご推薦セマナ・サンタのメニュー」の出来上がりです。

ちなみに、話が逸れますが、なぜパンが余ってデザートに活用するのかという理由がまた、スペインらしくて面白いのですよ。「普段はメインが肉で美味しいから、添えて食べるのにたくさんパンが必要だ。でも、セマナ・サンタはメインが魚で大して美味しくないから、そんなにパンを食べない。で、パンが余るのでデザートにする」というのです。もっと風情のあるエピソードを期待する日本人にはお気の毒ですが、この現実主義がまた、スペインらしさでもあるのです。

タラのフライもタラのトルティージャもそれぞれに美味しいし、私はタラ尽くしメニューも嫌いではありません。復活祭の季節にスペインに滞在するチャンスがあったら、ぜひ食べてみてくださいね。

塩蔵のタラ、バカラオ・セコ

「おばあちゃんのポタへ」

私にとって、このポタへ・デ・ビヒリアが特に大切なのは、これを教えてくれたのが主人のおばあちゃんだったからだと思います。おばあちゃんはエストゥレマドゥーラ出身の小柄で陽気な人で、若い頃は女優でした。娘一家のために主婦業を引き受けていたおばあちゃんの得意料理の一つがポタへ。私は、おばあちゃんのポタへの美味しさが忘れられず、ある日頼み込んで教えてもらったのです。その結果、同じく女優で料理が苦手な主人の母には伝えられなかったポタへを、孫の嫁である私が引き継ぐことになりました。日本人の嫁を可愛がってくれたおばあちゃんの思い出とともに、ポタへのレシピは私の宝物になりました。

そして、つい先日のこと。マドリードのバルで最近ランチも出している料理上手なファビアナにその話をしたら、「あら、私もポタへは作るのよ、ぜひコツを教えて」と言います。そこで、おばあちゃんのポタへを説明すると、「うん、少し違うところがある。そっちに変えてみる」という感想。そして2日後、「明日は、マリに教えてもらったやり方でポタへ作るから、食べに来て」とファビアナが言うので、家族総出で食べに行きました。

柔らかく煮えたガルバンソはよく味を吸って美味しいし、タラの量もちょうどいい。少しスープが多めなところも、寒い時期には喜ばれそうです。「これなら最高！」と褒めると、ファビアナのご主人が「そうだろ、彼女の料理は最高だよ！」と皿を洗いながら相槌を打ちます。

ここはマドリードの都心。オフィスで働いていて家に帰って昼食をとることができない人たちが、こんな温かな家庭料理を食べられること、そしておばあちゃんの料理が若い世代にも引き継がれていくことを確信できて、とても嬉しい1日でした。

さあ、みなさんも、おばあちゃん譲りのポタへに挑戦してみてください。ちょっと問題なのは、塩蔵したスペインのタラの入手が難しいことなのですが、そこはちょっと手抜きのアイデアをご紹介。甘塩のタラを使えば、ごく短時間塩を抜くだけで、身のしまったタラの風味を楽しめます。あるいは、生のタラに塩をして一晩おくだけで、簡単塩タラも作れます。タラが主役の料理ではないので、これでも十分ポタへの美味しさは楽しんでいただけるでしょう。

スペイン庶民の生活の知恵とも言える、豆料理。日本の皆さんにも好きになっていただけたら嬉しいです。

ファビアナが作ってくれたポタへ。マドリードの街中のバルで、温かな家庭の味をきちんと再現してくれた

マドリードの老舗レストランのポタへ

グアダルペのレストランのポタへ

渡辺万里　わたなべまり / Mari Watanabe　学習院大学法学部政治学科卒。1975年よりスペインで食文化史の研究に取り組むと同時に、スペイン料理界最前線での取材に従事する。1989年、東京・目白に『スペイン料理文化アカデミー』を開設。さらに各地での講演、執筆などを通してスペイン文化の紹介に携わっている。早稲田大学グローバルエデュケーション非常勤講師。著書に「エル・ブジ究極のレシピ集」（日本文芸社）、「修道院のうずら料理」（現代書館）、「スペインの竈から」（現代書館）など。

<スペイン料理文化アカデミー>
スペイン料理クラス/スペインワインを楽しむ会/フラメンコ・ギタークラスなど開催
〒171-0031 東京都豊島区目白4-23-2
TEL: 03-3953-8414　HP: www.academia-spain.com

日本のサン・セバスチャンをめざして。

歴史ある美食のプレミアムリゾート・軽井沢から美食文化（ガストロノミー）を発信します。

軽井沢の歴史ある「美食（ガストロノミー）文化」を支えているのは、豊かで良質な食材を届けてくれる信州の生産者たちと、新鮮な食材を芸術作品の域にまで昇華させる地元レストランの人気シェフたち。当プロジェクトは彼らの料理や表現を通して、美食文化を全国に発信し、軽井沢を「美食の聖地、日本のサン・セバスチャンに！」と願い活動しています。

お問い合せ　**Karuizawa Gastronomy Project　美食リゾート軽井沢プロジェクト**
http://bishoku-karuizawa.com/　info-spain@mbh.nifty.com　［スペイン料理文化アカデミー］

美食リゾート軽井沢
Karuizawa Gastronomy Project

ポタヘ・デ・ビヒリア

Potaje de Vigilia

スペイン産の塩タラの代わりに、甘塩のタラを使って。ガルバンソ豆も、水煮の缶やパックを使って。どうぞ手軽に挑戦してみてくださいね。一度オイルで揚げたニンニクやパンを潰した「マハード」という調味料を加えるところが、スペインの煮込み独特の美味しさの秘密です。

材料（4 人分）

ガルバンソ（乾燥した状態で）	1 カップ
（水煮した状態で）	1+1/2 カップ
オリーブオイル	大さじ 5 ～ 6
ニンニク	2 かけ
玉ねぎ	小 1 個
食パン（耳をとって）	1/2 枚
パプリカ	小さじ 2
ほうれん草	1/2 束
甘塩のタラ	2 切れ
ゆで卵	1 個

作り方

❶ 乾燥ガルバンソはたっぷりの水で戻し、柔らかくなるまで茹でておく。甘塩のタラは、味を見ながら30分程度水につけて塩を抜く。

❷ フライパンにオリーブオイルを入れ、粗みじん切りにした玉ねぎとニンニク1かけをゆっくり低温で加熱する。透明になったら、煮込み鍋に移す。

❸ オイルの残ったフライパンで、ニンニク1かけと2センチ角に切ったパンをきつね色にソテーして取り出す。すり鉢でよく潰してマハードを作る。

❹ 同じフライパンで3センチ長さに切ったほうれん草をソテーする。

❺ 煮込み鍋の玉ねぎにパプリカを加えて軽くソテーしてから、ガルバンソを加える。10分ほど煮てから、ほうれん草も加える。

❻ 皮や骨を取って軽くほぐしたタラを加え、すり鉢で潰したマハードを入れてよく混ぜる。

❼ 塩味を整え、最後にゆで卵を刻んで散らす。

❶

❷

❸

❹

❺

❻

❼

colegiodelibes
Y TÚ... HABLAS ESPAÑOL?

Avda. Italia, 21. 37007. Salamanca. España
Tel: +34 923 120 460 Fax: +34 923 120 489
www.colegiodelibes.com
delibes@colegiodelibes.com

Centro Acreditado

Salamanca ¡Te está esperando!

様々な国籍の学生で溢れ、
いつも活気のあるColegio Delibes。
充実したコース・アクティビティが自慢です。
あなたも一緒に勉強しませんか?

Salamancaへ行こう!

「学生の街」として有名なサラマンカ。この街では、訛りのないスペイン語が話されているため、スペイン語を学ぶのにぴったりの環境です。小さな街で治安も良く、親しみやすい雰囲気のため、世界中からたくさんの学生が訪れます。是非、サラマンカへお越しください!きっとご自分の家にいるような心地よさを感じていただけると思います。

Cursos
ニーズに合わせて
多様なコースをご用意

Clases
25教室 / 全10レベル
1クラス最大10名

Estudiantes
学生からシニア層まで
40ヵ国の国々から

Actividades
文化やスポーツなど、
様々なアクティビティを提供

Alojamiento
ホームステイ、学生寮、共同アパート
プライベートアパート、ホテル

コース料金、
宿泊施設など
詳細につきましては
お問い合わせください

56° Concurso Internacional de Paella Valenciana de Sueca

国際パエリアコンクール
出場レポート

文・写真提供 / 森下幸二

▲古くからバレンシアに伝わる伝統的なオフィシャルレシピで炊き上げたパエリア。主な材料はウサギ、鶏、エスカルゴなど

◀なにより一番重要なのは火加減と煙加減です。ご覧の通りスペイン人からのアドバイスを頂きながら炊き上げました

▼特別賞を頂いた瞬間です。お店の営業をしながらバーベキュー場を借りて何度も練習をした甲斐がありました。これからも日本とスペインの架け橋になっていきたいです

毎年9月にスペインのバレンシア州の米どころ、スエカでは収穫祭としてパエリアコンクールが開催されます。パエリアの原点であるPaella Valencianaを全世界から出場する約40チームで競い合うのです。今回、日本代表として2016年大会に出場してきました。

パエリアの起源は古く9世紀ごろ、アラブ人によって米を食べる文化がもたらされました。伝統的なパエリアは鶏、兎、豆と野菜のみで作るオレンジの薪を使い直火で炊き上げたものです。日本では魚介も入ったパエリアが一般的ですが、そちらはPaella Mixtaと呼ばれ比較的新しい種類のパエリアです。コンクールも同様の材料が指定されており、薪を用いた直火で調理する点が普段と違い苦戦するポイントです。

大会への参加は今回で3回目。昨年は日本予選で私の所属する店舗が2位と悔しい結果でした。その悔しさをバネに何度も何度も事前にパエリアを作り研究してきましたし、薪での調理にも慣れるためキャンプ場にチームのみんなで行き、試作を重ねてきました。

大会当日はさすが陽気なスペイン人の収穫祭。読んで字のごとくお祭り騒ぎの中、コンクールが開始されました。他のチームはというとスペイン人の参加が多く、アメリカ、フランス、ペルーなどの方もいましたがアジアからは日本のみ。食材も限定されており、パエリアに大事な水分量の調節や、大会がスタートする時間を逆算してお米を投入しなければならないなどコンクールならではの苦難も多かったです。

スペイン語がしっかり話せるスタッフがおらず大変なことも多かったですが苦節3年、練習した成果は存分に発揮できたかと思います。気になる結果はというと…

審査員特別賞を受賞！チームのみんなで力を合わせて練習し、今回参加できなかった他のスタッフも快くお店を守りスペインに送り出してくれ、結果を残せて本当に良かったです。

近年は日本でもスペイン料理が普及してきており、取り扱うお店も増えてきましたが一般的にはまだまだパエリア以外の認知度は低いと言わざるを得ません。本場での経験を活かしたパエリアを日本の皆さんにも召し上がっていただきたいですし、パエリアをきっかけに他の美味しいスペイン料理に興味を持ってもらえればと思います。今後もスペイン関連の野外イベントなどに参加する予定ですので、日本とスペインの架け橋になる活動の一端でも担えたら幸いです。

スペイン居酒屋 El Chateo
エル・チャテオ 銀座店
〒104-0061
東京都中央区銀座3-2-12
全研ビル1・2F
TEL:03-3535-7033

光、自然、村と村人
ニハールは映画に在る

La luz, la naturaleza, los pueblos y su gente

ニハールは、映画フィルム撮影で何度も選ばれている土地である。年間通し毎月、私達が目にする幾つかの映画やテレビ等のフィルムに、ニハールの景色は映し出されている。まばゆいばかりの光と土地の景観、一年中、心地良い気温、そして夏は6ヶ月続く。壮大でバラエティーに富んだ景色は、かつての火山跡により、幾つかの眠る火山を含めた壮大な地形と成っている。Gata-Nijar ガタ・ニハール岬はユネスコ認定のジオパークである。

モンスール海岸での、傘をさしたショーン・コネリーが沢山のカモメに追いやられるシーンは、数々の有名シーン中でも代表的である。この海岸は、ニハールの他の寂しげな海岸と同様、テリー・ジリアン監督もしくは若き頃のアントニオ・バンデラスの為の自然スタジオと言えるだろう。1962年の作品アラビアのローレンス、近年の作品エキソデュスでは、砂漠景観が映し出されている。この様に、ニハールという土地は半世紀以上も、映画俳優とディレクター達に好まれ、映画制作の為に選ばれ続ける舞台場である。何故なら、それはニハールが映画によって在る場所とも言えるからだろう。海岸は、しばしばヨーロッパカリブと呼ばれ、近年では世界中のスキューバーダイバー達の絶好の地と言われている。1983年のジェームス・ボンド主役映画ネバー・セイ・ネバー・アゲインでは、海底の映像も見る事ができる。透明で暖かい海水は、映画撮影技法をより良く活かす為の適切な景色を作り出す。

更にニハールにはアンティーク金鉱山が在り、青年時のインディアナ・ジョーンズが小飛行機に乗って断崖を回路した場所だ。そして古い産業貯水池は、良い気候と美しい光を探す映画監督の技術によって、何度もデコレーションされた場所である。

村は、撮影器具やセット等を収容保護できる良い環境にあり、またエキストラ出演風で自然体な村人、動物等の自然な出演や予想外のシンプルな出来事などが、映画制作に良い影響を作り出す。ニハールでの映画は1960年と70年に絶頂期に達し、それ以降スペインのこの半砂漠パラダイスは、アメリカ、ヨーロッパ映画のイメージとして認識されるようになった。現在のニハールでの撮影は、7月と8月の観光ピーク時を除き、変わることなく行われ続けている。

クラシック作品は、アラビアのローレンス（1962年）、クレオパトラ（1963年）、パットン（1970年）、インディアナ・ジョーンズと最後の十字軍

（1989年）、バロン（1988年）、これらはニハールの大地のイメージを、忘れる事の出来ないものとして創り上げた。
ポスターや写真制作は、名声高い映画監督アンソニー・マン、ジョン・ミリウス、フランクリン・シャフナー、デイビット・リーン、ニコラス・レイ、セルヒオ・レオネ、リチャード・レスター、シドニー・ルーメット、ジョセフ・マンキーウィッツ、スティーブン・スピルバーグ、アラン・タナーなどによって、美しい自然公園の崖や海岸が選ばれ撮影された。

幾つかのロケーションは多少の変化は見られるが、有名映画の続・夕日のガンマン(1966年）の監督であったセルヒオ・レオネの喪の場となった忘れられない土地でもある。舞台をメキシコに似せて制作されたこの映画に出演したこの頃のクリント・イーストウッドは知名度が低かった。クラシック映画時代の村の子ども達は、現在の映画スター達の前後の姿をニハールの村を通して見る人々である。他のロケーションは全く変化しておらず、柔らかく心地良い短い冬には一面に花々が広がり、他の季節では溢れるほどの自然と日の輝きと暑さに満ち溢れる。

日西商業会議所

Cámara de Comercio Hispano Japonesa

マドリードにオフィスを構える日西商業会議所(Cámara de Comercio Hispano Japonesa) は、日本とスペイン間の商業関係促進のために1954年に設立された民間団体です。会員をはじめとして顧客へのビジネスサポート、イベント開催、各種講座の開講、スペイン情報の発信、各種出版など、日本・スペイン間の理解、関係改善に向けた様々な活動をおこなっています。ここでは、日西商業会議所発行『スペイン広報』と記事の一部をご紹介いたします。

スペイン情報誌
季刊『スペイン広報』

1985 年創刊の『スペイン広報』は、スペインの文化、経済をオールカラー、豊富な写真でお伝えする日本語の季刊誌。日本ではあまり知られていない地域の魅力や祭り、アートの他、奥深いスペイングルメ情報も満載。
www.camarajaponesa.es/jpn/?cat=5

CCHJ
お問い合わせ先
日西商業会議所
1954 63 2017 日西商業会議所

Cámara de Comercio Hispano Japonesa
www.camarajaponesa.es
camara@camarajaponesa.es ☏ (+34) 91 851 12 11
✉ Apartado 10124 – 28080 MADRID - SPAIN

駐日代表
ペドロ J. ガジェゴ
携帯 090-4226-5774
E-mail: eliken@purple.plala.or.jp

留学無料サポート
入学手続代行

スペイン留学.jp
留学ガイド

スペインへ留学しよう！

¡Vamos a España!

留学準備の第一歩は、学校を探すことから始まります。
地方ごとに異なる特色を持った魅力溢れる国、スペイン♪
お気に入りの街が見つかれば、より充実した留学生活になることでしょう。
ここでは代表的な留学先をいくつか紹介していますが、
他にも多くの学校をご用意しております。

▶▶ご出発までの流れ

1. 留学カウンセリング、お見積り
「どの街にしよう?」「費用はどれくらい?」「何から準備すればいいの?」など、漠然とイメージされている留学プランや、目的・期間・ご予算など、まずはメールやお電話でお気軽にご相談下さい。
2. 具体的に学校、コース、滞在スタイルなどのプログラムが決まれば、留学手続代行申込書を提出
3. 入学手続き開始
4. 航空券や保険、国際キャッシュカードなどの情報収集
5. ビザが必要な方は、申請に必要な書類を集め、在日スペイン大使館へ提出
90 日以内の留学なら学生ビザは不要ですが、91日以上の留学には学生ビザが必要です。短期学生ビザ（91日以上180日以内）、長期学生ビザ（181日以上）取得の場合は、ご出発の約2ヶ月前に時間に余裕を持って申請して下さい。
6. 留学費、海外送金手数料のご入金
7. 航空券、海外保険、学生ビザなど必要なものが揃えば、いよいよご出発！

<当サポートサービスの範囲>

・選択された学校への出願サポート
・サポート依頼を頂いた学校が手配するホームステイ、学生寮、共同アパートなどの宿泊先申込手続（混雑状況によりご希望に添えない場合がございますので、事前にご確認下さい）
・留学費用の海外送金
・空港出迎えサービスなど、各種オプションサービスの依頼代行
※未成年の方は、必ず保護者の方に同意を頂いた上、お申込み下さい ※パスポートやビザの申請、航空券・海外保険の手配などは含まれませんので各自でご準備下さい　※海外送金手数料（6,500 円）はご負担となります

スペイン・中南米への留学は
スペイン留学.jp
www.spainryugaku.jp
info@spainryugaku.jp
4都市に相談窓口
東京 03-6869-6435　大阪 06-6346-5554
名古屋 052-766-6406　福岡 092-517-9535

カウンセリング・お見積もり・学校の入学手続きも無料で代行致します。お気軽にご相談下さい♪

① サラマンカ Salamanca

1218 年に創立されたスペイン最古の大学がある学生の街。カテドラル、大学、貝の家、マヨール広場など美しい建物が多く、旧市街全体が世界遺産に登録されています。

donQuijote スペイン語コース

<ドン・キホーテ　サラマンカ校>

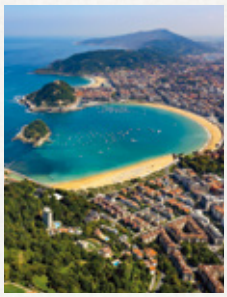
	1 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース（25 時間 / 週）	215€ / 26,445 円	4.560€ / 560,880 円
ホームステイ（個人部屋 /2 食付）	149€ / 18,327 円	3.576€ / 439,848 円
共同アパート（個人部屋 / 食事なし）	129€ / 15,867 円	3.096€ / 380,808 円

colegiodelibes Y TÚ... HABLAS ESPAÑOL?

<コレヒオデリベス>

	2 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース（20 時間 / 週）	360€ / 44,280 円	2.880€ / 352,240 円
ホームステイ（個人部屋 /2 食付）	294€ / 36,162 円	3.528€ / 433,944 円
共同アパート（個人部屋 / 食事なし）	220€ / 27,060 円	1.950€ / 239,850 円

② サン・セバスティアン San Sebastián

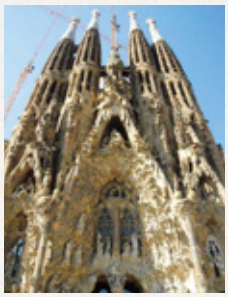


バスク地方独自の文化が息づく街。「美食の都」として有名で、美味しい魚介類やピンチョスが堪能でき、数多くのバルが軒を連ねる通りはいつも賑わっています。

<ラクンサ・インターナショナルハウス・サン・セバスティアン>

	1 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース（20 時間 / 週）	175€ / 21,525 円	3.072€ / 377,856 円
ホームステイ（個人部屋 /2 食付）	241€ / 29,643 円	5.784€ / 711,432 円
共同アパート（個人部屋 / 食事なし）	128€ / 15,744 円	3.072€ / 377,856 円

③ バルセロナ Barcelona



スペインの中でも独自の歴史と文化を育んできたカタルーニャの都。ガウディやダリなど数多くの著名人を輩出。「芸術の街バルセロナ」には、今も街のあちこちに多くの芸術作品が残されています。

<インターナショナルハウス　バルセロナ>

	1 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース（20 時間 / 週）	210€ / 25,830 円	3.840€ / 472,320 円
ホームステイ（個人部屋 /2 食付）	250€ / 30,750 円	5.760€ / 708,480 円
共同アパート（個人部屋 / 食事なし）	250€ / 30,750 円	5.520€ / 678,960 円

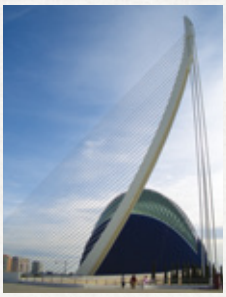
④ イビサ Ibiza

バレアレス諸島で 3 番目に大きな島で、白い壁の家が立ち並ぶ景色に癒されます。夏には世界中から多くの観光客が訪れます。美しいビーチや、夜はクラブめぐりなどナイトライフを楽しむことができます。

<インスティトゥート・デ・イディオマス・イビサ>

	1 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース（20 時間 / 週）	205€ / 25,215 円	3.120€ / 383,760 円
ホームステイ（個人部屋 /2 食付）	230€ / 28,290 円	5.520€ / 678,960 円
共同アパート（個人部屋 / 食事なし）	100€ / 12,300 円	2.400€ / 295,200 円

⑤ バレンシア Valencia

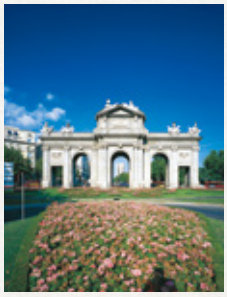


歴史的な伝統と近代建築が隣り合って共存するスペイン第 3 の都市。火祭りやトマト祭り、またパエリア発祥の地として有名です。地中海性の温暖な気候で過ごしやすく、ビーチリゾートとしても知られています。

<エスパニョーレ・インターナショナルハウス・バレンシア>

	1 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース（20 時間 / 週）	165€ / 20,295 円	3.960€ / 487,080 円
ホームステイ（個人部屋 /2 食付）	190€ / 23,370 円	4.560€ / 560,880 円
共同アパート（個人部屋 / 食事なし）	115€ / 14,145 円	2.760€ / 339,480 円

⑥ マドリード Madrid



プラド美術館や王宮など見所いっぱいの活気溢れるスペインの首都。休日にはショッピングやバル巡り、アート観賞を楽しむことができます。スペインの中心に位置するマドリードは他の都市へのアクセスも良好です。

<エンフォレックス　マドリード校>

	1 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース（20 時間 / 週）	169€ / 20,787 円	3.576€ / 439,848 円
ホームステイ（個人部屋 /2 食付）	229€ / 28,167 円	5.496€ / 676,008 円
共同アパート（個人部屋 / 食事なし）	189€ / 23,247 円	4.536€ / 557,928 円

⑦ セビーリャ Sevilla

太陽と青い空が似合うスペイン南部、アンダルシア地方にある街。バスや電車で少し足を延ばすと、まるで絵ハガキのような白い村が点在し、陽気でのんびりとした空気を肌で感じることができます。

<クリック IH　セビーリャ校>

	1 週間あたり	24 週間あたり
一般集中スペイン語コース（20 時間 / 週）	190€ / 23,370 円	3.720€ / 457,560 円
ホームステイ（個人部屋 /2 食付）	200€ / 24,600 円	4.360€ / 536,280 円
共同アパート（個人部屋 / 食事なし）	130€ / 15,990 円	2.680€ / 329,640 円

※料金は 2017 年度の料金を参考にし作成しております（2017 年 2 月現在 / 1€=123 円で計算）。実際に渡航される際には料金が改訂されている事がありますので、予めご了承くださいませ。なお入学金や宿泊先斡旋料、夏期料金などが加算される学校もございますので、詳細につきましてはお問合せ下さい。

Vamos a

中南米でスペイン語を学ぼう

¡Latinoamérica!

スペイン語は中南米にある多くの国でも話されています。様々な歴史と文化、民族が混じり合う中南米。メキシコやペルーの遺跡、イグアスの滝やエンジェル・フォールの大自然など、中南米は見所いっぱいです。まずはどんな国があるのか、それぞれの文化や気候の違いを知り留学先を決めましょう。

中南米について

中南米、ラテンアメリカと言えば…世界遺産マチュピチュ、陽気な人々、美しいカリブの海…などがすぐに思い浮かびます。ラテンアメリカとは、中央、南アメリカの両地域を合わせて呼ばれています。スペインやポルトガルなどの文化を背景とする国々で、コロンブスの新大陸発見から 19 世紀までは主にスペインの植民地でした。その背景から現代でもスペイン語は中南米の約 20 の国々で公用語として使われています。5 億人を越える人々が暮らし、自然、民族、文化が魅力の中南米は、それぞれの国や地域ごとに豊かな個性をもち、多くの観光客を惹きつけます。

日本からは遠いため、なかなか訪れる機会がない国々でしたが、最近では若者のバックパッカーからパッケージツアーを利用したシニア世代まで、多くの日本人が訪れる地域へと変わってきています。

ペルーってどんな国？

Perú ペルーを知ろう！

南アメリカ大陸の太平洋岸中部に位置するペルー共和国。かつてはインカ帝国繁栄の地であり、「空中都市」マチュ・ピチュやナスカの地上絵などの大規模な遺産が多数残されています。ペルーといえば、フォルクローレの旋律とアンデスの彼方に飛び去っていくコンドルを思い浮かべる人も多いはず。実際には山岳地帯、熱帯雨林地帯、海岸砂漠地帯の 3 つの地域があり、それぞれ気候も食文化も全く異なります。ペルー国内を旅するうちに、自然界、建築、美食、民族文化のどの視点から見ても、この国が驚くほどの多様性に満ちていることに気づくでしょう。

面積	1,285,220 km²	人口	約 31,150,000 人
平均気温（リマ）	乾季（8 月）：16℃ 雨季（1 月）：22℃		

Turismo

←現代に生きる文化財

インカ帝国時代のさまざまな遺跡、伝統や民族文化に触れることができるのも、ペルーの魅力。古都クスコでスペイン語を学びながら、先住民文化を勉強することもできます。

↓ペルーで出会える動物たち

おなじみのリャマ（右）やアルパカ（左）。毛は衣類などへ加工されます。

セビーチェ →

ペルーで定番の郷土料理。新鮮な魚介類をタマネギやニンニク、トウガラシと合わせた、ペルー式のマリネ。

マチュ・ピチュ →

アンデス山脈の標高 2430m に位置する、インカ帝国時代の城塞都市遺跡。傾斜の激しい石造りの市街地は居住区、神殿、墓地などで構成されており、15〜16 世紀には、700 人ほどの人間が暮らしていたと考えられています。

提携校のある中南米の国と街

メキシコ
- グアナフアト
- オアハカ
- プラヤ・デル・カルメン

キューバ
- ハバナ
- サンティアゴ・デ・キューバ
- トリニダ

グアテマラ
- アンティグア

ドミニカ共和国
- サント・ドミンゴ
- ソスア

コスタリカ
- サント・ドミンゴ・デ・エレディア
- プラヤ・ハコ

コロンビア
- ボゴタ
- カルタヘナ

エクアドル
- キト

ペルー
- クスコ

ボリビア
- スクレ

チリ
- サンティアゴ・デ・チレ

アルゼンチン
- ブエノスアイレス
- バリローチェ
- コルドバ
- メンドーサ

スペイン語留学ガイド配布中！
留学初日に使える
スペイン語講座付き♪

spain ryugaku 留学.jp

スペイン・中南米への留学は
スペイン留学.jp

スペイン留学.jpでは、ご希望に合った学校選びや、プランの作成など幅広くお手伝いしております。漠然とイメージされている留学プランや、目的・期間・ご予算など、まずはお気軽にご相談下さい。

https://www.facebook.com/spainryugaku.jp
「いいね！」をクリックして今すぐスペイン留学の最新情報を入手しよう！

@spainryugaku
ツイッターでも留学情報を配信しています！

【資料請求・お問合せはこちらから】
www.spainryugaku.jp
info@spainryugaku.jp

4都市に相談窓口
東京 03-6869-6435　大阪 06-6346-5554
名古屋 052-766-6406　福岡 092-517-9535

有限会社 ADELANTE

¡Vamos a hablar español!

スペイン語で話そう

Lección 10

何をお求めですか？ / いくらですか？
¿Qué quiere?
¿Cuánto cuesta(n)?

買い物をするときの会話表現

¡Hola! みなさん、こんにちは。今回はお店に入ったときのやりとりを勉強します。欲しい商品があるときは動詞「querer」を使って店員さんに尋ねてみましょう。

買い物の会話表現 ①「何をお求めですか？」「…が欲しいです」

¿Qué quiere? （店員）何をお求めですか？

¿Qué desea? （店員）何をお求めですか？（丁寧表現）

Quiero ... . （お客）～が欲しいです。

例）Buenos días. ¿Qué quiere? いらっしゃいませ。何をお求めですか？
Quiero unos pantalones. ズボンが欲しいです。

買い物の会話表現 ②「それを買います」「いくらですか？」

Me la llevo. （お客）それを買います。

la は「それを」を意味する代名詞。商品が単数形・女性名詞の場合です。
購入する商品の名詞の性・単複に合わせて変化します。

¿Cuánto cuesta(n)? （お客）いくらですか？

例）Quiero unos zapatos negros. 黒い靴が欲しいです。
¿Qué número? どのサイズにしますか。
El 36. 36をください。
Me los llevo. ¿Cuánto cuestan? これを買います。 いくらですか。
Cuestan 80€. 80ユーロになります。

動詞 querer の活用

わたし	quiero	わたしたち	queremos
きみ	quieres	きみたち	queréis
彼・彼女 あなた	quiere	彼・彼女たち あなたたち	quieren

＋αで覚えよう！その１［いろいろなお店］

- パン屋 pandería
- 花屋 floristería
- 市場 mercado
- 洋服屋 tienda de ropa
- 日常雑貨屋 droguería
- 本屋 librería
- 薬局 farmacia
- スーパー supermercado
- 靴屋 zapatería
- 時計屋 relojería

＋αで覚えよう！その２［お店に関係する言葉］

- レジ caja
- ショッピングカート carrito
- レシート、領収書 recibo
- 買い物袋 bolsa de la compra
- セール rebajas
- 試着室 probador

スペイン語教室 ADELANTE
・一般・旅行・商業・DELE 検定対策・プライベートなど目的やペースに合わせて選べるコース
・ネイティブ講師だからプチ留学気分で自然なスペイン語がマスターできる！
・振替ができるので忙しくても安心！
・月謝払い OK！
無料体験レッスン 教室見学など 随時受付中！
スペイン語教室 ADELANTE
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2-5-8 千代田ビル西別館 2 F
TEL: 06-6346-5554 FAX: 06-6110-5122 www.adelante.jp

AVANZAMOS A1
- 日本の学習事情を考慮して作られた西語で西語を学ぶ入門者向けテキスト
- 個人授業 / グループ授業 使用可
- 充実の 104P（オールカラー）・CD 付
- ¥1,944（税込

アデランテショップで好評販売中！
www.adelanteshop.jp

clic
Centro de Lenguas e Intercambio Cultural

International House
Sevilla y Cádiz

スペインのエッセンスが詰まった セビリアとカディスで語学留学

- 語学教育と講師養成コース等で世界的に定評のある**International House**メンバー校
- **1**週間の短期から長期までご希望のコース期間が選択可能
- **DELE**試験開催校（年**3**回）として安心と信頼の**DELE**対策コース
- 現地日本人スタッフによる安心のサポート

Instituto Cervantes
Centro Acreditado

CLIC International House Sevilla y Cadiz
クリック・インターナショナルハウス・セビリア＆カディス
Email: japan@clic.es（日本語でどうぞ）
www.clic.es/jp（日本語サイト）

IALC

使えるスペイン語を学ぼう

Español práctico vol.4

旅行や留学で使える実践的なスペイン語を学ぶコーナー。
第４回では、スペインでの服や靴の
サイズの見方をチェックしましょう！

服・靴のサイズ表

スペインのブティックで買い物を楽しみましょう！特に留学生活が長くなると衣服の購入は欠かせません。現地での服・靴のサイズ基準を今回の講座でチェックして、自分にぴったりのサイズの商品を探してみましょう！

[タグの例]

1. サイズ
2. 素材
3. 生産国

Tallas de ropa
スペインと日本のサイズ対応表（服）

para hombre 紳士服		para mujer 婦人服	
スペイン	日本	スペイン	日本
38	S	34	XS (5)
40		36	S (7)
42	M	38	M (9)
44		40	L (11)
46	L	42	XL (13)
48		44	3L (15)
50	XL		

Números de calzado
スペインと日本のサイズ対応表（靴）

para hombre 紳士靴		para mujer 婦人靴	
スペイン	日本	スペイン	日本
39	24	35.5	22
39.5	24.5	36	22.5
40	25	36.5	23
40.5	25.5	37	23.5
41	26	37.5	24
41.5	26.5	38	24.5
42	27	38.5	25

※服、靴のサイズ表はあくまで目安です。サイズをしっかり確認したいときは ¿Puedo probármelo?（試着してもいいですか）と店員さんに聞いてみましょう！

vocabulario

衣服に関する単語を学びましょう。
靴や靴下など２つで１セットのものは複数形になります。

camisa	シャツ	pantalones	ズボン
camiseta	Ｔシャツ	falda	スカート
blusa	ブラウス	calcetines	靴下
vestido	ワンピース	zapatos	靴
jersey	セーター	zapatillas	スニーカー
traje	スーツ	sandalias	サンダル
chaqueta	ジャケット	botas	ブーツ

さらに、素材やデザインに関する単語を学びましょう。

fibra	繊維	manga corta	半袖
algodón	綿	manga larga	長袖
lana	羊毛	apretado	ぴったりした
seda	絹	suelto	ゆったりした
cuero	革	tacón	靴のヒール

spain ryugaku 留学.jp
スペイン留学.jpなら
1週間からのプチ留学も
フラメンコなどのお稽古留学もできる♪
スペイン・中南米への留学はスペイン留学.jp
お問合せはこちら
www.spainryugaku.jp
info@spainryugaku.jp
本社
大阪 06-6346-5554 東京 03-6869-6435
名古屋 052-766-6406 福岡 092-517-9535
有限会社 ADELANTE 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F

donQuijote
スペイン語コース

1986年創立

スペイン語を生きよう
スペイン　ラテンアメリカ

年間3万5千人・85ヶ国からの留学生が受講中（アジアからの留学生は10%以下）。

スペイン・メキシコ・コスタリカ・エクアドル・ラテンアメリカ諸国計32都市の校舎にて受講頂けます。

多彩なスペイン語コースから、あなたのニーズにあったコースをチョイス。

徹底した少人数制（最大8名・平均4名）。

現地日本人スタッフのきめ細やかなサポート。

ヘッドオフィス　Tel.: +34 91 594 37 76　|　keiji.tanimura@donquijote.org

アリカンテ/バルセロナ/グラナダ/マドリッド/マラガ/マルベーリャ/サラマンカ/セビリア/テネリフェ/バレンシア（スペイン）
アルゼンチン/ボリビア/チリ/コロンビア/コスタリカ/キューバ/ドミニカ共和国/エクアドル/グァテマラ/メキシコ/ペルー（ラテンアメリカ）

Instituto Cervantes Centro Acreditado

www.donQuijote.org/jp

ideal education group

スペイン語講座 Lección 28

今回のテーマ

時の接続詞cuando等の表現について

Sobre la conjución temporal *cuando* y otras expresiones

今号では基本的な状況補語節(Cláusula Circunstancial)の一つである時の従属節(Cláusula Temporal)を扱います。簡単なようでも種類が多く,直説法と接続法の使い分けに関わる表現なので中級者がまず習得すべき構文と言えるでしょう。

まず,一番基本的なのがcuando〜で導かれる文です。例を見てみましょう。

Cuando llego al Aeropuerto de Guadalajara, siempre llamo a mi amigo íntimo.
グアダラハラ空港に着くといつも親友に電話する。
Cuando llegue al Aeropuerto de Guadalajara, llamaré a mi amigo íntimo.
グアダラハラ空港に着いたら親友に電話をしよう。

前の文のcuando節は現在の習慣,つまり「実現」(着くときはいつも)を表しているので直説法,後の文では「未実現」の内容(着いたら)を表しているので接続法を使います。このように「未実現の副詞節内」では接続法が使用されるのは,以下に見る他の接続詞の場合でも基本的に同様です。

ところで稀ですが,接続詞cuandoの後に動詞が省略されることがあります。"cuando la guerra"「戦時中には」,"cuando joven"「若い頃」などがあります。

それではcuando以外の表現を見ていきましょう。時間の前後関係を表す表現として"antes (de) que"と"después (de) que"があります。前置詞のdeが入る場合と入らない場合があり,方言や個人の好みに依りますが,スペインではde入りが普通のようです。文法的には前者だとqueは比較のque,後者だと名詞節を導くqueと解釈されます。ただ実際にはそう単純に割り切れない面があるのですが,ここではこれ以上触れません。

Antes de que me olvide, te doy mi nueva dirección.
忘れる前に君に新しい住所を伝えておこう。
Después de que terminemos este trabajo, saldremos a tomar algo.
この仕事が終わった後,何か飲みに出かけよう。

antes (de) queの場合は,節内の行為はまだ実現していない(「〜の前に」だから当然そうなる)ので常に接続法が使われます。一方,después (de) queの場合は,両方の可能性があります。つまり,過去形の場合はその行為が既に実現しているので直説法になります。

Después de que terminamos ese trabajo, salimos a tomar algo.
その仕事が終わった後,何か飲みに出かけた。

次に同時性の表現"mientras (que)"「〜する間」を取り上げます。

Mientras tú te diviertes fuera por la noche, yo estudio encerrado en la habitación.
君が夜外で楽しんでいる間,僕は部屋に籠って勉強している。

この接続詞には「〜する一方…」という「対比」用法もあります。この用法の場合は"mientras que"とqueを付けた方がよいとされています。

Mientras que Hillary cuenta con el apoyo de los liberales, Trump gana los votos de la clase blanca trabajadora y conservadores.
ヒラリーがリベラル派の支持を当てにする一方,トランプは白人労働者階級や保守主義者の票を得る。

続いて二つの行為の並行した進行「〜に従って」を意味する表現です。"a medida que〜"が代表的です(この場合conforme, según もほぼ同じ意味です)。

Últimamente hay muchos accidentes de tráfico causados por ancianos, pues a medida que avanza su edad van perdiendo reflejos.
最近老人による交通事故が多い。それは,年齢が進むにつれ反射神経が低下するからだ。

「〜するやいなや」を表す表現として"en cuanto〜"などがあります。

En cuanto salga la convocatoria de la plaza de ayudante, avísemelo sin falta.
助手の職の募集が出たら必ず私に知らせてください。

ほぼ同じ意味を表す副詞句として"tan pronto como〜","apenas〜","no más〜","nada más〜"などがあります。最後の"nada más〜"は不定詞を使うのが特徴です。

Nada más conocer el resultado del examen de ingreso Laura se echó a llorar de alegría.
入学試験の結果を知るやいなやラウラは嬉しさのあまり泣き出した。

続いて"desde que〜"「〜以来」と"hasta que〜"「〜まで」を取り上げてみましょう。例文としてラテンアメリカの曲の歌詞から挙げてみます。

Desde que te vi, una flecha me clavaste con amor.
君を見て以来,愛の矢が僕を打ち抜いた。(チリのポップグループNatalinoの曲"Desde que te vi"の歌詞より)
Yo era muy feliz hasta que te conocí.
君と知り合うまで僕はとても幸せだった。(メキシコの歌手Juan Gabrielの曲"Hasta que te conocí"の歌詞を少し改変)

さらにいくつか表現を見ていきましょう。"ahora que"は「今や〜だから」を表します。

Ahora que la línea de alta velocidad ha conectado Toyama con Tokio es natural que haya muchos más turistas que antes.
今や新幹線は東京と富山を繋いだのだから以前よりずっと観光客がいるのも当然だ。

次は"siempre que"「〜するときはいつも」です。意味が近いものに"cada vez que"「〜する度に」もあります。

Siempre que necesites la ayuda no dudes en pedírmela.
助けが必要な時はいつも私にそれを求めるように。

単純に見えがちな時の表現も意外に多彩であることに気づかれたでしょうか。¡Hasta la vista!

仲井 邦佳 なかいくによし / Kuniyoshi Nakai
立命館大学産業社会学部教授。専門はスペイン語学。著書に『はじめてのエスパニョール』(共著、三修社)、『中級スペイン語―文法と演習―』(共著、同学社)などがある。

International House
San Sebastian

LACUNZA

サン・セバスティアンでスペイン語と文化を学ぼう！

ラクンサ・インターナショナル・ハウスは，スペイン北部
バスク地方のサン・セバスティアンにあります。

スペインとバスク，伝統と革新。
2つの文化が融合するサン・セバスティアンは，食文化で世界的に有名な街です。

サン・セバスティアンで，スペイン語と文化を学び，新しい味の体験を！

+25
年の実績

独自の文化

お問い合わせは

Lacunza International House
Camino de Mundaiz 8,
Entlo D, 20012
San Sebastián,
España

+34 943.32.66.80
info@lacunza.com
www.lacunza.com

lacunza.ihsansebastian
lacunzaih
lacunzaihss

D.E.L.E.試験準備コース4週間

インターナショナル・ハウス提携校

Diplomas de Español como Lengua Extranjera

Centro Acreditado

fedele
Federación de Escuelas de Español Lengua Extranjera

IALC
International Association of Language Centres

ビジネス スペイン語

NIVEL 中級(B2)以上

Vol.9

さまざまな内容の短文をトピックス的に取り上げてみました。とくに、独特の表現や語句に注目して下さい。スペイン語での意味がよく把握できないと、当然それに該当する日本語の専門用語をイメージすることが難しいです。また、訳文をごく普通に使われている日本語にすることもポイントです。

伊藤 嘉太郎先生
Yoshitaro Ito
長年の海外経験を活かし、大学でのビジネススペイン語非常勤講師などを歴任。

☑ スペイン語の表現に該当する日本語を文脈から理解する

ejemplo 1

En cualquier empresa la formación de personal es esencial, máxime si desea expander su operación en el ámbito internacional a fin de obtener su mayor cobertura de mercado.

どんな企業でも人材育成は不可欠で、国際部門で事業拡大を図り更なる市場確保を目指すならなおさらである。

ejemplo 2

En la actualidad las startups pueden contar tanto con reducciones fiscales en el impuesto de sociedades como con subvenciones en las cotizaciones sociales de los empleados.

現在、事業立ち上げには法人税の減税や社員の社会保険料の補助(減額)を(当てにする)受けることができる。

ejemplo 3

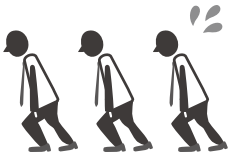
Las empresas multinacionales aprovechan incentivos impositivos para repatriar sus dividendos obtenidos de sus filiales en el exterior.

多国籍企業は海外子会社からの配当金の本国送金に対し税制恩典を利用している。

ejemplo 4

El cierre de una fábrica, lleva aparejado el despido de muchos trabajadores dependiendo del tamaño de sus instalaciones.

工場閉鎖にはその機械設備の規模にもよるが大勢の労働者の解雇を伴う。



ejemplo 5

Es un buen comercial aquél que cumple con tres reglas fundamentales; manejar bien los números, conocer bien sus productos y tratar con respeto a sus clientes.

基本3原則を弁えた者が優れた販売員である。すなわち、数字に強い、自社商品を熟知、顧客への丁重な応対である。

頭の中で文章の内容を理解していても、それをだれにでも分かる日本語にしないと本当に理解したことにはならないでしょう。そのもどかしさを克服するために、手始めに短いスペイン語の文章を分かり易い日本語に訳す努力を重ねてみてください。

ejemplo 1

1. formación：教育、訓練という意味もある。formación profesional＝職業訓練。技能訓練や能力アップのニュアンスではそれぞれentrenamiento / adiestramiento, capacitaciónが使用される。
2. esencial : indispensable, fundamental と同義。
3. máxime si：まして〜なら。máxime que...とも表現される。
4. cobertura：「範囲」を表す ⇨ ここでは「もっと広い範囲の市場」となる。また、マスコミ用語では「取材、報道」金融用語では「ヘッジ」を意味する。

ejemplo 2

1. startups：「事業の立ち上げ」のこと。スペイン語世界でもいまや広く使用されている。スペイン語のinicio, comienzo, arranqueに該当する。
2. contar con：〜を当てにする、有する
3. reducciones fiscales：減税。免税 “exención de impuestos”, 免税の “exento/a de impuestos”, 税務恩典 “incentivos fiscales”, 所得税 “impuesto sobre la renta”
4. subvenciones：補助金のこと。同義語は “subsidios”
5. las cotizaciones sociales：社会保険料の分担金のこと。

ejemplo 3

1. Las empresas multinacionales：世界の様々な国で事業を行う国際企業、empresas globales / globalizadas / internacionales / mundiales も同義。
2. incentivos impositivos：税制恩典、ejemplo 2の“incentivos fiscales”と同義。“estímulos fiscales”, “beneficios fiscales”とも言う。
3. repatriar：本来は本国に送還するという意味で、反対語は“expatriar”(国外へ追い出す)。これから派生して“expatriado/a”は海外駐在員/出向者のことを指す。但し、通信社などの海外特派員は“enviado/a especial”。
4. dividendos：配当送金の別の表現 ⇨“remesa por dividendos”
5. filiales :“compañías / empresas filiales”のこと。関連会社 ：afiliadas / subsidiarias

ejemplo 4

1. cierre：閉鎖、閉店といった意味のほかに、“el cierre del año / ejercicio fiscal”だと「会計/事業年度の締め ⇨ 決算」ということになる。
2. lleva aparejado：もたらす、伴う。“aparejar”は準備する、整えるの意味。“El mayor crecimiento económico traerá aparejado un aumento de la contaminación ambiental.”「更なる経済成長は環境汚染の増大を招くであろう。」
3. despido：動詞は“despedir”.“despido injustificado / improcedente”「不当解雇」、“pago de despido”「解雇手当」。
4. instalaciones：機械設備・装置を指す。“construcciones”は構築物。工場の建物のみは“nave industrial”とも言う。

ejemplo 5

1. un buen comercial：“comercial”は販売員、販売担当者のこと。
2. aquél que：aquél は具体的な人物ではなく、漠然と「〜のような者」。よく使われる表現。
3. manejar bien los números：直訳では「数字を扱うのが得意」となる。
4. tratar con respeto: 敬意を持って接するという意味。

もっと詳しく知りたい方は...
中級ビジネス スペイン語特別講座

【対象者】
現役のビジネスパーソンでビジネススペイン語力を高めたい方、
将来スペイン語を使った仕事に就く予定・計画のある方、
スペイン語のステップアップとして実践的なスペイン語学習を求める方

【講座内容】
ビジネス関連情報の読み取り方、顧客への自社業務・担当業務の説明、
E-mail による社内外とのコミュニケーション等

【講座概要】
計6講座（各90分）
定員：4〜5名の少数クラス
（最小実施人数3名）
講師：伊藤嘉太郎
場所：スペイン語教室 ADELANTE
アクセス：JR 大阪桜橋口から徒歩5分

スペイン語 ADELANTE
www.adelante.jp

【お問合せ】スペイン語教室ADELANTE 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F TEL: 06-6346-5554 FAX: 06-6110-5122 www.adelante.jp

イビサでスペイン語を学ぶ 3 つの理由

白い街並みが美しい、地中海に浮かぶイビサ島。スペイン人はもちろん、世界中の人々が訪れる人気の地でスペイン語を学びませんか？

1 2800年の歴史をもつイビサ島は世界遺産に登録され、現在はヨーロッパのクラブカルチャー、ダンスミュージックの中心地として有名です。

2 経済力豊かなイビザ島にはスペイン本土や中南米から多くの人が集まり働いています。様々なスペイン語のアクセントやスペイン語圏の文化に触れることができるためスペイン語学習にも最適です。

3 イビサ島の中心であるイビサ市には5万人が住んでおり、休暇を楽しむスペイン人に人気の街です。昼はビーチで過ごし、夜はバル巡り、またイビサの文化や世界中から集まる人々との交流を楽しむことができます。

Instituto idiomas ibiza について

Instituto idiomas ibizaは、イビサ島で唯一のインスティテュート・セルバンテスに加盟している語学学校です

- 入門から上級レベル（C2）のクラスを開講
- 空調設備の整った快適な教室
- 生徒の国籍：様々な国籍の方が学習しています
- 生徒の年代：16歳～、30歳～、50歳～と様々
- 1クラス定員：最大9人まで
- 滞在先：世界中の生徒と生活をともにする共同アパートまたはホームステイがあります
- アクティビティ：毎週行われる課外活動も充実スポーツやDJのアクティビティも

Instituto Cervantes
Centro Acreditado

fedele
Federación de Escuelas de Español como Lengua Extranjera

IALC
International Association of Language Centres

Instituto de Idiomas Ibiza
Avenida Ignacio Wallis, 32
07800 Ibiza
España

+34 971 30 38 15
info@ii-ibiza.com
www.ii-ibiza.com

¿Estación de qué.....?

Lost in translation:

Las desventuras de un granadino en una estación de bomberos japonesa

ロスト・イン・トランスレーション:

日本の消防署でのグラナダ人の不幸

A veces cuando más interés tiene una persona en quedar bien, los duendes que pululan por doquier se confabulan para que todo salga completamente al revés. Aquel día de finales de septiembre estaba totalmente ilusionado porque tenía en Tokio al Jefe de Gabinete del Alcalde de Granada, Juan José Ibáñez y a Estrella López, directora de la oficina de turismo del Ayuntamiento, y como granadino asentado en Dúrcal que soy, me sentía realmente feliz de atenderlos. Tras un acto de promoción de Córdoba en el Instituto Cervantes de Tokio y al que ambos habían asistido, les propuse visitar el Museo Conmemorativo del pintor japonés Toshima Yasumasa, que vivió más de treinta años en Granada, comentándoles que el director del museo, Shigyo Sosyu, estaba muy interesado en que la obra del pintor se expusiese en Granada en el 2018, año en que se celebran los 150 años del establecimiento de relaciones diplomáticas oficiales entre España y Japón. Sería algo realmente emotivo que unas obras de arte que se concibieron en Granada y se exponen actualmente en Tokio, pudieran volver a su origen para gozo y disfrute de todos los granadinos.

A Juanjo Ibáñez le pareció una idea extraordinaria y quedamos el sábado en el Instituto Cervantes para desde allí desplazarnos en mi coche al Museo Conmemorativo del pintor tokiota-granadino. Yo había estado en el museo un año antes y no recordaba bien cómo llegar, por lo que el viernes le pedí a mi secretaria que me pusiera en el navegador de mi Iphone la dirección del museo, para que no hubiera ningún problema y llegáramos sin contratiempo. Pero la hiperactividad que siempre tenemos en el Instituto hizo que el día se pasara y olvidáramos poner la dirección, por lo que Teresita, la gestora cultural, dijo: “no te preocupes, ahora mismo busco yo el museo en Google y verás como llegas estupendamente”. No me gustó mucho la idea, pero acepté su propuesta y en un plis plas, me enseñó incluso una foto en Internet del Museo que me pareció algo diferente a lo que recordaba, pero que di por buena, no sin antes decirle: “Teresita, ¿estás segura?”, a lo que ella, mientras se pintaba los labios, asintió sin pestañear.

Así que llegamos al sábado y después de asistir en el Instituto Cervantes a la clausura de un ciclo de cine hondureño, al terminar la proyección, cinco minutos antes

人がうまくやろうと思っているときに限って、どこからか小悪魔たちがやってきてまったく正反対の結果になるよう企んだかのようなことが起こることがある。9月の終わりのあの日、ドゥルカルに住んでいるとはいえ、グラナダ出身の私はグラナダ市長室の室長であるフアン・ホセ・イバニェス氏とグラナダ市観光局長であるエストレージャ・ロペス氏を東京にお迎えし、同行させていただけることへの幸せを噛み締めていた。ご両人が出席される東京のセルバンテス文化センターにおけるコルドバのプロモーションイベントの同日、イベントの後でグラナダに30年以上も住み続けた日本人画家、戸嶋靖昌の記念館を訪問することを薦めた。というのも、その館長である執行草舟氏が戸嶋靖昌の絵の展示会をグラナダで開催することに非常に関心を示していたからで、私はそのことも彼らに伝えていた。グラナダで制作され、現在東京で展示されている芸術品が、生まれ故郷に戻り、現地の人々に喜び楽しんでもらえるとしたら、こんなに感動的なことはないだろう。

フアンホ・イバニェス氏はこの提案を大変気に入って、土曜日にセルバンテス文化センターで待ち合わせをし、そこから私の車で、東京出身でありながらもグラナダ人ともいえるこの画家の記念館に向かうことにした。私は1年ほど前にその記念館を訪ねたことがあったが、行き方が定かではなかったので、当日問題なく遅刻せずに記念館に辿り着けるよう、金曜日のうちに秘書に私の携帯電話のナビに記念館の住所を入力しておくよう頼んであった。それにもかかわらず文化センターでの仕事は常に多忙を極め、おかげで記念館の住所入力を忘れてしまっていた。すると秘書の帰宅後、文化部長のテレシータが「大丈夫よ、私がグーグルで今すぐに見つけてあげるわよ、見ててごらんなさいね、スムーズに辿りつくから。」と言ってくれた。その瞬間、嫌な予感がした。が、しかし、私は彼女の提案を受け入れた。すると彼女は瞬時に記念館の場所を探し当て、私にインターネット上の写真まで見せてきた。私の記憶とは何か違うような気がしたが、彼女が瞬き一つせず座り、唇に紅を差す間、「テレシータ、絶対だね。」と確認することもなく、私は納得してしまったのだった。

そうして土曜を迎え、セルバンテス文化センターでのホンジュラス映画上映会の上映も終わり、記念館に向かって文化センターを出る時刻の5分前にフアンホの携帯から「アントニオ、セルバンテス文化センターの住所を教えてくれ。東京の地下鉄や電車で迷って1時間もうろうろしている、ここでは誰も英語を話さないので、完全に迷子だ。」という携帯メッセージを受け取った。始まりからよくなかった。日本においては時間厳守が非常に大切なため、私の神経はきりきりし始めた。ごたつく中、なんとか一人の者を彼らが着いたという市ヶ谷駅に向かわせ、文化センターに連れてきてもらった。その間記念館には前もって、来賓が道に迷い遅刻した旨を連絡し、直ちに私の車で記念館へと向かった。携帯電話のナビの指示通り進むと10分ほどで記念館に到着した、少なくとも私はそう思い込んで

Antonio Gil de Carrasco
アントニオ・ヒル・デ＝カラスコ

Nació en Granada en 1954. Escritor y periodista. Doctor en Letras, Licenciado en Filosofía y Letras, Diplomado en Educación General Básica. Actual Director del Instituto Cervantes de Tokio.

1954年グラナダ生まれ。
作家、ジャーナリスト。文学博士。
哲文学部卒業。教職課程履修。
セルバンテス文化センター 東京(日本)現館長。

de la hora prevista para salir hacia el museo, recibo el siguiente Whatsapp de Juanjo: "Antonio, dame la dirección del Instituto Cervantes que llevamos una hora dando vueltas en el metro y tren de Tokio, pero aquí nadie habla inglés y estamos perdidos". Los inicios no eran buenos y mis nervios comenzaron a alterarse ya que la puntualidad es muy importante en Japón. Tras varias vicisitudes, envié a una persona a la estación de Ichigaya, a la que habían llegado, y los trajo al Instituto, saliendo inmediatamente en mi coche hacia el museo, al que previamente llamamos para decir que llegaríamos tarde por haberse perdido mis invitados. Siguiendo las instrucciones del navegador del Iphone, en 10 minutos estábamos en el museo, o eso creía yo, porque la fachada era tal como la vi en la foto que me enseñó Teresita el día anterior, aunque me extrañaba que tuviese unas persianas tan enormes que no sabía si daban a cocheras, o a salas de exposiciones. En cualquier caso paré el coche frente a una de ellas y le dije a Juanjo y Estrella que se quedaran dentro, que yo entraría en el Museo para anunciar su presencia con el fin de que les recibieran como se merecían. Así que entré solo y con mi japonés macarrónico se inició la siguiente conversación que no tiene desperdicio.

Yo: Buenas tardes. Por favor avisen al director.
Conserje: ¿Qué director?
Y: Cuál va a ser, el director del museo.
C: ¿De qué museo me habla usted señor?
Y: (Perdiendo la paciencia) Pero hombre, del museo Yasumasa.
C: (Comenzando a ponerse nervioso) ¿Yasu….. qué….? Oiga, ¿quién es usted, qué es lo que quiere y de dónde viene?
Y: ¿Como que qué quiero? ¿Qué voy a querer? Ver al director para visitar la exposición del pintor Yasumasa. Vengo en un coche oficial de la Embajada de España.
C: ¿Qué…? ¿Que es usted el embajador de España? (en un tono lisonjero) : ¡Cuánto honor que visite esta estación de Bomberos de Chiyoda-ku. Bienvenido!

いた。それというのも前日にテレシータに見せられたあの正面の写真と同じだったからだ。それにしても、やはり怪しかったのは巨大なブラインドが下ろされたあれらの窓だった。あれらの窓はすべて展示場についているのか、駐車場に向いているのか…。とにもかくにも、私は車をその巨大ブラインドつきのあれらの窓の一つの前に止め、フアンホとエストレージャに車内でお待ちいただけるよう伝えた。私はお二人の到着を正式な形で出迎えてもらえるよう先に記念館に入って彼らの到着を館長に伝えるつもりだった。そうして、私は一人で先に行き、私のヘタクソな日本語で次のような会話をした。会話の中身に余分な言葉はなかった。

私：　「コンニチハ、館長サンを呼んでクダサイ。」
守衛：「なんの館長ですか。」
私：　「ナンノ？記念館の館長サンデス。」
守衛：「どちらの記念館のお話をなさっているかわかりませんが。」
私：　(忍耐を失いかけている)「アノデスネ、靖昌記念館の館長サン。」
守衛：(もうかなり動揺してきている)「ヤス…？なんですか？すみませんが、どちらさまでしょうか？どちらからお見えですか？何がなさりたいんですか？」
私：　「ナニガシイタイ！？ナニがしたい？館長サンに会って画家の靖昌の展示会をミルコト。スペイン大使館の車でキマシタ。」
守衛：「はい？スペイン大使閣下でおられますか？」(おべっか使いなトーンで)「千代田区のこの消防署によくおこしくださいました！歓迎申し上げます！」

私たちが戸嶋靖昌記念館だと思っていた建物は千代田区の消防署だった

Continúa en la página siguiente,

1 左から、グラナダ市長室の室長フアン・ホセ・イバニェス氏、グラナダ市観光局長エストレージャ・ロペス氏、戸嶋靖昌記念館の館長執行草舟氏、アントニオ・ヒル・デ＝カラスコ

2 同4名、戸嶋靖昌の絵画とともに

Y: ¿Estación de qué…..? Oiga que yo no soy el Embajador, digo visiblemente molesto, soy miembro de la embajada y quiero ver la exposición del pintor Toshima Yasumasa.
C: ¿Cómo? ¿Que no es el embajador? Pues ya puede usted quitar el coche ahora mismo de la puerta de la cochera, dijo en tono autoritario, ya que impide la salida en caso de emergencia.
Y: El coche no lo quito, pues no tengo donde aparcar. Además hay muchas más salidas. Voy a llamar a mi oficina a que le expliquen, a ver si aclaramos esta especie de locura...

La llamada a mi oficina fue una pesadilla, pues para cualquier asunto los japoneses hablan horas. El conserje le decía a la recepcionista del Instituto que si yo era el embajador, y ella le contestaba que no, que yo era el director del Cervantes. Éste le preguntó que qué era el Cervantes, y cuando llevaban 10 minutos de cháchara y los nervios me devoraban, le quité al conserje mi móvil y le dije entre aspavientos a la recepcionista que ya le explicaría otro día a ese señor lo que era el Cervantes e incluso matricularlo en español para que me entendiera mejor, pero que en ese mismo instante llamara al museo, que sabía estaba cerca, para que viniera alguien a la estación de bomberos a recogernos, pues me iba a dar un infarto.

Mientras tanto Juanjo y Estrella, por el tiempo transcurrido, pensarían que les iba a recibir una banda de cornetas y tambores, pero lo único que veían era a mí cuando salía y les hacía el gesto de la victoria y que esperaran, con lo cual no entendían nada de lo que estaba pasando.

Los diez minutos de espera se hicieron interminables pero de una gran comicidad, pues el conserje insistía que quitara el coche, y yo le decía que no, que si lo quitaba, acabaría en Osaka, pues en Tokio no hay forma de parar en medio de una calle y Juanjo y Estrella una vez al tanto de la cómica situación se tronchaban de risa, mientras mi enfado subía en decibelios. Por fin llegó Misaki, la asistente del director del museo y pudimos celebrar la visita y plantear no solo la posibilidad de la exposición en Granada, sino también la posible visita del alcalde de la ciudad de la Alhambra, para inaugurar esa misma exposición en el Instituto Cervantes en la primavera de 2017.

Acabo con un proverbio de Confucio sobre la sabiduría: "Saber que se sabe lo que se sabe y que no se sabe lo que no se sabe; he aquí el verdadero saber", y así puedo afirmar que ya sé lo que es una estación de bomberos en Tokio.

私：「ショ？…ナニノショ？アノ、ワタシハ大使ではアリマセン。(かなり気分を害された様子で)ワタシハ大使館の関連機関のモノデ、戸嶋靖昌の絵を見にキマシタ。」
守衛：「どういうことですか？大使ではない？でしたら、まずは車を車庫の出入口からどかしてください。」
緊急事態が発生しても消防車が出られないということでかなり横暴な口調で言われた。
私：「車はどかしマス。デモ車を止めるところがアリマセン。ソレニ出入口だらけデス。オフィスに電話をしてこのおかしな状況をはっきりさせなくてはいけマセン。オフィスの誰かに頼んであなたに説明してモライマス。」

そのときの私のオフィスへの電話は、悪夢に思えた。日本人は何を話すにも話が長い。守衛さんは文化センターの案内係に私が大使なのかを確認していた。そして彼女は私がセルバンテス文化センターの館長であることを告げたのだった。しかし今度はセルバンテスが何かを質問し、彼らの電話越しでの会話は10分もかかっていた。守衛さんの手から携帯を取り戻し、受付係にもまた別の日にセルバンテスの説明をして、私の話がもう少しわかるように、セルバンテスでの受講受付もするように薦めておくことなど、やや大げさ目な言い方をした。私はもう確実に近くまで来ていたことは知っていたので、瞬時に記念館に電話をし、この消防署まで誰か私たちを迎えに来てくれるよう頼んだ。もうこのとき私は、心臓発作を起こす寸前まできていた。

その間フアンホとエストレージャは、こんなに時間がかかるということは、ラッパ隊とドラムバンドの演奏つきの歓迎でも受けるのかとでも思っていたのだろう。彼らが見たのは出口から両手をグーに上に掲げた勝利のジェスチャーをしながら出てきた私だけで、待っていた間に何が起きていたかについては知る余地もなかったであろう。

この10分の待ち時間は永遠に感じた。その間の守衛さんと私のやり取りは車をどかすかどうかだった。彼は車をどかすよう主張し続け、私は東京には路上駐車を少しでもできるところがない、今この車をどかさなくてはいけないくらいなら大阪に行くと言い、私の怒りがデシベル単位でうなぎ登りに上昇し、絶頂に近づいている中、この滑稽な状況にフアンホとエストレージャは笑い転げていた。ついに記念館の館長秘書であるミサキさんが迎えに来てくれた。そして私たちは訪問を歓迎していただき、グラナダでの展示会の可能性に関して話し合えた。その上、アルハンブラの町長が2017年の春にセルバンテス文化センターで行うこの展示会の開会式への訪問についての可能性にまで話が及んだことは何よりだった。

知恵に関する孔子の格言で締めさせていただきたい。
「知らざるを知らずとなす。これ知るなり。」(知っていることは知っていると認め、知らないことは知らないと認めよ。それが真の知識というものだ。)
こうして私は東京の消防署がどのようなところか知ったのだった。

Texto(文): **Antonio Gil de Carrasco** / アントニオ・ヒル・デ＝カラスコ
Traducción(翻訳): Yasuyo Hashimoto / 橋本 安代
Fotografías(写真): Misaki Abe / 安倍 三崎

カンテを楽しむ

篠田有史／文・写真

スペインへ行くときは、いつもマドリード近郊の町にある友人の家に世話になる。メホラーダ・デル・カンポというのが町の名前だが、とくにこれといって有名なものはない。それほど古い建物もない、ごく普通のスペインの町だ。数年前、1人の老人が建てているカテドラルが、清涼飲料水のCMに使われ、ちょっと有名になったくらいだ。

あるとき、友人に、「ぺぺが、フラメンコの集まりがあるから是非聴きにきて欲しい、と言っているよ」と伝えられた。「acueducto」の読者の方はご存知だと思うが、スペインでフラメンコというと大抵の場合、踊りではなくカンテ(歌)の方である。

午後8時過ぎ、教えられたレストランへ行くと、奥の部屋にはすでに20人ほどが集まっていた。しばらくして、会長・アントニオさん(70)の挨拶があり、今日伴奏を担当する2人のギター奏者が紹介された。1人はまだ10歳の少年(ルベン君)だ。挨拶代わりの彼の演奏の後、会長の右隣の男性が口火を切る。上手い。その後に、参加者が次々と歌う。なかなか声が出ない人もいて、会長から注意されたりもするが、みんな上手い。もちろん会長は年期が入っていて、さすがである。

フラメンコ同好会(tertulia)の集まりは毎週月曜日の午後8時から10時までで、参加者は、メホラーダ・デル・カンポだけでなく、周辺の町からも来る。普通20〜30人は参加する。この日は25人が集まった。年齢は40〜60代が中心だろうか。

Tertulia

左上／ギターを奏でるルベン君
左下・右上／カンテを歌うtertuliaのメンバー
左下中央／会長のアントニオさん(70)
右下／メホラーダ・デル・カンポに建設中のカテドラル

Cante Flamenco

いろんな種類のフラメンコの歌が次々と歌われ、興が乗ってくると踊りが始まった。2人の女性が歌に合わせて即興でセビジャーナスを踊る。馴れたものだ。

最後は、全員でエンリケ・モレンテの「La Estrella(星)」を合唱した。

「もし、私を導いてくれる星を見つけることができたなら、
私の胸の奥深くに入れて、あがめ続けるだろう。
もし、私の道を照らしてくれる星を見つけることができたなら……」

篠田有史 しのだゆうじ / Yuji Shinoda

1954年岐阜県生まれ。フォトジャーナリスト。24歳の時の1年間世界一周の旅で、アンダルシアの小さな町Lojaと出会い、以後、ほぼ毎年通う。その他、スペイン語圏を中心に、庶民の生活を撮り続けている。
【写真展】スペインの小さな町で(冨士フォトサロン)、遠い微笑・ニカラグア(〃)など。【本】「ドン・キホーテの世界をゆく」(論創社)「コロンブスの夢」(新潮社)
「雇用なしで生きる」(岩波書店)などの写真を担当。

ピアニスト・下山静香の

音楽の時間

ガルシア・ロルカと音楽
その 3

「ロルカのスペイン民謡」（SONIFOLK 盤）
F.G. ロルカ（ピアノ）/ アルヘンティニータ（歌）

ロルカの人生に、音楽はなくてはならないものだった。前号までに述べてきたように、文学の道に身を投じるようになってからも、音楽は常に彼に寄り添っていたのである。

グラナダでのロルカは、アランブラ宮殿北側にあるサクロモンテの丘に足しげく通い、そこに住むロマ（ジプシー）の踊り手唄い手たちと交流を深めていた。1920 年からは、グラナダに転居してきたマヌエル・デ・ファリャ、言語学者のラモン・メネンデスとともに、サクロモンテや隣接するアルバイシン地区を訪ね、民謡やバラード（物語詩）の収集をおこなっている。ちなみに、美しい白壁と入り組んだ路地が特徴のアルバイシンは、かつてイスラム教徒の居住区であった。ロマの人々と、追放令が出された後もグラナダに居残ったモリスコ（カトリックに改宗したイスラム教徒）たちは、ともに迫害を受ける社会的弱者であり、また外見の親近性もあって、両コミュニティ間には密接な交流があっただろうと推測されている。

ロルカが少年時代から親しく接してきたフラメンコとのかかわりは、講演や詩作だけにとどまらない。1921 年、ロルカは、故郷フエンテ・バケーロス出身のギタリスト 2 人から本格的なフラメンコ・ギターのレッスンを受け、友人への手紙で、「ファンダンゴ、ペテネラス、タラントス、ブレリアス、ロメラスのカンテ伴奏を習得した」と記している。カンテ・ホンド・コンクールに向け、ファリャとともに準備を始める頃のことであった。

『ジプシー歌集』を刊行して名声が一気に高まった翌年（1929 年）、ロルカはニューヨークのコロンビア大学に短期留学している。アメリカ滞在を終えてスペインに戻ったロルカは、ラ・アルヘンティニータと再会する。

“ラ・アルヘンティニータ”、本名エンカルナシオン・ロペス（1898-1945）は、国際的に大人気を博し、スペイン舞踊の発展にも寄与したレビュー・スターである。

彼女は、これより約 10 年前の 1920 年に、すでにロルカと仕事をしていた。ロルカ初の戯曲である《蝶の呪い》の初演舞台で、蝶の役を踊ったのだ。（この作品は大衆には受け入れられず、たった 4 回の上演でお蔵入りの憂き目にあってしまったが……。）ラ・アルヘンティニータは、華やかに活躍しながらも 1926 年に一時活動を休止、その後「27 年の世代」との共同作業でステージに復帰する。

「27 年の世代」と呼ばれるのは、1927 年に詩人ルイス・デ・ゴンゴラの 300 回忌を記念して開かれた行事で重要な役割を果たしたメンバーを中心とする詩人や知識人たちで、ロルカもその 1 人であった。奇しくも同年生まれの 2 人が 1931 年におこなったコラボレーション —— それは、ラ・アルヘンティニータの歌とロルカのピアノ伴奏による、スペイン民謡のレコーディングである。

収録されたのは、グラナダで夏になると聞こえてくる〈三枚の葉〉、アルバイシン界隈でク

リスマスシーズンに歌われていた〈4 人のラバ曳き〉、ロルカがミュージシャンの叔父から教わっていた〈カフェ・デ・チニータス〉、グラナダで長く歌い継がれる〈かわいい巡礼者たち〉、セビジャーナスの定番の1つ〈18 世紀のセビジャーナス〉、15 世紀編纂の《王宮の歌曲集》にも収録されている古謡〈ハエンのモーロ乙女たち〉、のちの内戦期には共和国陣営の替え歌として愛唱された〈アンダ・ハレオ〉、もの悲しい〈セビーリャの子守唄〉、アルベニスのピアノ曲にも登場する〈ラ・タララ〉、ファリャが自作曲のモチーフとして繰り返し使った〈ソロンゴ・ヒターノ〉、などであった。

これらは現在「ロルカのスペイン古謡」として知られ、スペイン歌曲の重要なレパートリーであるだけでなく、ロルカと関係の深いフラメンコの世界でも定番となっている。「ロルカ作」と誤解されることもあるが、正しくは「ロルカ編」であって、すべてロルカが幼少時から親しみ、またフィールドワークで収集したであろう、正真正銘の「民謡」である。

民謡とは本来、人から人へ口伝で歌い継がれることで命を保つものだから、楽譜があるわけではない。ロルカは、このプロジェクトのために、民謡の旋律に和声づけを施し、ピアノ伴奏譜も書き記した。ごく何曲かの伴奏については作曲家の友人が手伝ったとされるが、ほとんどがロルカ自身のアレンジによるものであることは、彼の音楽的素養からしてほぼ間違いないだろう。その「音楽的素養」は、実際の音源で、ロルカの奏する絶妙な伴奏ピアノを聴けば明らかなのである。

このレコーディングに関するインタビューで、ロルカは「繊細で威厳があり、気高くて味わい深い、しかし芸術としての様式を具えたものを創りあげたかった…」と語っている。彼のピアノが素晴らしいのはもちろんのこと、ラ・アルヘンティニータの歌も、民俗的な雰囲気を残しながら芸術としての気品もたたえる、味わいあるものである。また、曲によっては、彼女のカスタネットやタコネオ(サパテアードの足音)も入っていて、貴重な音源となっている。また、ロルカは、詩人としての見地から、長く受け継がれてきた伝統的な歌詞の美しさを認め、「名もなき民衆が生んだこれら素晴らしいことばを前に、われわれ詩人はもはや口をつぐむしかない」と述べてもいる。

この録音プロジェクトは、「民衆の真の魂を伝える歌」の復興という点で、ファリャとともに開催したカンテ・ホンド・コンクールと目的を同じくし、また、その目的は果たされたといえるだろう。

故郷の民謡、そして音楽を深く愛したロルカによって、形として残ることとなった《スペイン古謡集》は、スペイン音楽の宝の1つとして今も輝き続けている。

下山静香　しもやましずか / Shizuka Shimoyama

桐朋学園大学卒。文化庁派遣芸術家在外研修員としてスペインへ渡り、マドリード、バルセロナで研鑽。スペイン各地に招かれリサイタルを行い、「スペインの心を持つピアニスト」と賞される。ラジオ、テレビ番組に多数出演、これまでに 8 枚の CD をリリース。共編著書 1 冊、共著 10 冊、翻訳書 1 冊、校訂楽譜 2 冊がある。現在、スペイン・中南米音楽を含む多彩なレパートリーをもつピアニストとして活発な演奏活動を展開。またクラシック界にあって、翻訳・執筆・講演とマルチにこなすユニークな存在として注目を浴びている。桐朋学園大学、東京大学 各非常勤講師。
Official Web Site　http://www.h7.dion.ne.jp/~shizupf
裸足のピアニスト・下山静香のブログ　http://ameblo.jp/shizukamusica

Información

★ 3/3(金)　仁詩&下山静香　バンドネオンとピアノがいざなう ＜パリ×南米　魅惑の出会い＞
(所沢市民文化センターミューズ　キューブホール)

★ 3/24(金) 下山静香ピアノリサイタル ＜スペイン&ラテンアメリカ　魅惑のピアノ浪漫紀行＞
(桐生市市民文化会館　小ホール)

★ 5/4(木)～12(金)　ピアニスト下山静香とめぐるスペインツアー　～アラゴンに咲いたムデハルの華～
(郵船トラベル主催)

スペイン内戦が生んだ「ロバート・キャパ」 第14話

文・川成 洋

前号と少し重なるが、1938年4月15日のフランコ反乱軍の「地中海作戦」は、共和国の地中海ベルトを南北に、つまりバレンシア地方と今や共和国政府、ゲルニカ自治政府、それにカタルーニャ自治政府の所在地であるバルセロナ地方とに2分することになった。

これより2ヶ月前の1月21日、キャパは、映像カメラマンのジョン・フェルンハウトとともに、ベトナム経由、香港行のアラミス号でマルセイユを出港した。ヨーリス・イヴェンス監督のドキュメンタリー映画《四億》を制作するためであった。香港で、ニューヨークからくるイヴェンス監督と合流することになっていた。しかし、今回の中国の撮影には、キャパはいわば自弁での参加ということであった。そのために彼は今まで仕事の関係があったフランスの新聞社や雑誌社などに取材費の交渉をするが金銭的には潤沢にならなかった。ヘミングウェイが彼に200ドルを送金したこともあり、ようやく旅費などが整ったのだった。キャパの中国行は、ゲルダ・タローの不慮の事故死で悲嘆に暮れているキャパを何とか元気付けようとイヴェンスとフェルンハウトが考えてのことであった。それにキャパとアメリカの雑誌『ライフ』との関係が中国において何らかの有効な糸口が開けるのではないかというイヴェンスなりの目論見があった。なぜなら『ライフ』の発行者ヘンリー・ルースは、中国で伝道師の息子として生まれ、代表的な中国びいきの人物としてつとに知られていたからである。このアラミス号には、同じく抗日戦争中の中国を取材に赴くイギリスの詩人W・H・オーデン、作家クリストファー・イシャーウッドが同乗していた。この2人の共著『戦争への道』(1939年)はキャパらの様子をこう述べている。

「われわれはマルセイユから香港への旅のあいだに彼らと知り合いになった。最も彼らは悪ふざけや、すれ違いざまにだれであれもつねるという変な癖、しじゅう口をついて出る“なんだ！この野郎！”の怒鳴り声、留まることを知らない「尻軽女たち」の話で、2等船室の人気者になっていた。キャパはハンガリー人だが、フランス人以上にフランス人らしい、ずんぐりしていて浅黒く、コメディアンのような黒くて垂れ下がった目をしている。23歳だが、すでに報道カメラマンとして有名だった。フェルンハウトは長身で金髪の若いオランダ人で、キャパと同じくらい気性があらいが、キャパほど騒々しくない」(太田佐絵子訳)

2月16日、アラミス号が香港に到着する。ここから、イヴェンス・クルーは国民党軍の暫定的な拠点地である漢口へ向かった。前年12月13日、日本軍が国民党の首都である南京を占領したからである。

イヴェンスは、ヘミングウェイが脚本を書き、ナレーションを担当したプロパガンダ映画《スペインの大地》のメガホンを握った監督であり、例えば、ウィリー・ミュンツェンベルクといった世界的に著名なドイツの共産主義者とも昵懇の間柄であり、この人脈は驚くほど広かった。つまり左翼系の映画監督としては、38歳にも関わらず抜群であった。従って、中国では、国民党からは共産党寄りではないかと疑われ、漢口では、アメリカで教育を受けた気の強い「マダム・チャン」こと蔣介石夫人が、あろうことか、《四億》の制作を指揮すると言い出したのだった。早速、『ライフ』のヘンリー・ルースの名前を出して牽制するが、彼女が一向にひるむ名前ではなかったのである。

つまり、このドキュメンタリー映画に、共産党系の「紅軍」の将兵を映し出したくなかったのだ。ともあれ蔣夫人の許可を得られなければ、撮影はまかりならんということになった。漢口で、映画クルーは約6週間も足止めを食らってしまう。さらに、蔣夫人が密かに遣わした4人の検閲官に常に付きまとわれるようになる。クルーが身動きできないとき、キャパも同様だった。彼は映像カメラマンのアシスタントだったので映画クルーとほぼ同一行動をとらねばならなかった。キャパ、そしてフェルンハウトの士気もひどく衰えていた。

キャパはパリの友人、ペーター・ケスターにこう手紙でしたためている。

「とにかく、僕はこの撮影隊から浮き上がっています。そして、そのことが僕に多くの困難をもたらすことになりました……彼らはみんないいやつです。しかし、映画は彼らの楽しみ事であり(彼らが僕にそう感じさせるのです)、写真は完全に二の次なのです……台児荘の写真は悪くありませんでした。しかし、背中に大きな映画用カメラを担ぎ、周囲に4人の検閲官が付き、そのうえカメラマンの手助けをしつつ、うまく写真を撮るのはやさしいことではありません……僕は脇で写真を撮らなくてはならず、それをする時間もたいしてないのです」(沢木耕太郎訳)

4月29日、イヴェンスとフェルンハウトは中国の北西部に向かい、キャパは2日遅れて一行の後を追う予定となっていた。2人が乗った汽車が漢口駅を出発して数時間後、日本軍が37歳の天皇誕生日を祝うために漢口の町に襲いかかった。キャパは世界的なジャーナリズムに載せることのできる写真を初めて撮ることができた。1時間ほど続く空中戦であった。下から不安そうに空を見上げる住民の顔、20機の日本軍の爆撃機の墜落、それを目撃する住民の歓喜と拍手、これこそ、彼が撮ったマドリードの空中戦そのものであった。中国側は12機しか落とされなかった。中国側が空中戦に勝利したと宣言した。こうして彼は写真に収めたものの、約1000人の無垢の犠牲者を出したのだった。

7月19日の真昼、日本軍の爆撃機が、初めて漢口の一般市民居住地域をターゲットに空爆をおこなった。その地域全体が燃え広がり、あたり一面に灰が舞い降りた。煤だらけの骨組みだけが残った。

7月21日、イヴェンス、キャパ、フェルンハウトは、近代的な大都市が空爆されている現場を映像に撮るために、4日間もの汽車の旅を重ね、広東に着いた。広東で14階の高層ビルの最上階を借り、爆撃機が襲ってくるのを待ち構えていた、このビルは攻撃目標だからだ。それだけ危険だったが、空襲が終わってわかったのは、このビルこそ広東で最も安全な場所だったのだ。日本軍は広東を占領した後に、このビルを参謀本部として接収するために直接攻撃をさせなかったのだった。

8月中旬、今まで撮ったフイルムの編集のために、イヴェンスとフェルンハウトはニューヨークに帰った。キャパはひとりになった。

9月7日朝、中国駐在アメリカ大使館付陸軍武官スティルウェル大佐とイギリス、フランスの大使館付武官の一団が、前線に向かうと言うのでキャパも同行させてもらう。ここで撮った写真はキャプションを付けてパリの雑誌社に送った。その写真はこれまで見たこともないような、悲惨なものだった。キャパはかなり長いキャプションをつけた。

「栄養不良で腹だけが膨らんだ子どもたち、血と汚物にまみれた妊婦たち。日本軍兵士の監督の下で、自分たちの墓を掘っている中国人たち。生きた中国人で銃剣の威力を試す日本軍兵士たち」(野中邦子訳)

疲労困憊したキャパは、9月22日、香港に着いていた。中国を離れる3日前、コダクロームの35ミリフイルムを使って、世界初のカラーの戦争写真を撮った。香港から海路でパリに帰ろうしたが、1ヶ月もかかる船旅は時間の無駄だと判断して飛行機を使った。

その後も度重なる空襲を受け執拗に抵抗してきた漢口であったが、10月25日、ついに日本軍の手中に落ちたのだった。キャパが漢口に滞在していたころ、陥落がいわば秒読み段階になっており、それを見届けようと思ったものの、余儀なくパリ行を決めたのであった。この日のちょうど4日後の10月29日、バルセロナでは、キャパにとって最も意気消沈する日でもあったのである。

<次回に続く>

川成洋　かわなりよう / Yo Kawanari
1942年札幌で生まれる。北海道大学文学部卒業。東京都立大学大学院修士課程修了。社会学博士(一橋大学)。法政大学名誉教授。スペイン現代史学会会長、武道家(合気道6段、杖道3段、居合道4段)。書評家。主要著書:『青春のスペイン戦争』(中公新書)、『スペイン―未完の現代史』(彩流社)、『スペイン―歴史の旅』(人間社)、『ジャック白井と国際旅団―スペイン内戦を戦った日本人』(中公文庫)他。

バルセロナで質の高い スペイン語コースを

International House Barcelona

スペイン語を学びながら、
観光をしたり友達を作ったりしませんか。

質の高い教師陣のもと実生活にすぐに活かせるコミュニケーション中心の楽しい授業を受けてみませんか。

世界中から集まる生徒達

バルセロナの中心地

お問い合わせ
日本人カウンセラー
佐藤朱美: asato@bcn.ihes.com

www.ihes.com/bcn

Centro Acreditado

fedele

ACCREDITED Eaquals Excellence in Language Education

右記の学校でも
スペイン語コースを
受けることができます。

PALMA MALLORCA
スペイン

BOGOTÁ
コロンビア

PLAYA DEL CARMEN
リヴィエラマヤ
メキシコ

International House VIVA Group
www.viva-group.info

西宮市国際交流協会

スペイン語 おしゃべりの会

活動報告 2016.11.13

今回のテーマ　DESCUBRIENDO EL NORTE DE ESPAÑA（スペイン北部の再発見）

昨年の11月13日、バスク出身のJosé María Pereiroさんに DESCUBRIENDO EL NORTE DE ESPAÑA（スペイン北部の再発見）のタイトルで話してもらった。

従来スペインといえば、南部のグラナダ、セビリア、それに大都市マドリードとバルセロナが代表的な観光地だったが、最近は北部のバスク地方が注目され始めている。特にサン・セバスティアンのBarで出されるpinchosなどのグルメ料理は日本でも随分TV や雑誌で紹介されていてこの地方に関心が高まっている。有名なRiojaワインの産地でもあるし、ヘミングウェイも愛した「牛追い祭り」で知られているパンプローナもこの地域である。更に、ビルバオの魅力的でアートな建物も知られるようになっている。それにバスクでは他の欧州とは全く異なる言語が話されていて、気質もスペインの他の地方とは異なるようである。

今回の講師のPereiroさんは、真面目で勤勉なバスク人の典型のような人の印象である。当日は約束の時間よりかなり早く来てくれ、話す内容はノートにきちんとまとめられている。日本に住んで未だ3年足らずだが日本語もかなり勉強されている。

バスク地方はピレネー山脈を挟んでスペインとフランスの2ヶ国にまたがっている。この地域は、緑が豊かな自然と、美味しい食べ物、芸術的な建造物に恵まれた地方のようだ。

それに日本人には大変馴染みのある、イエズス会の宣教師としてキリスト教布教のためにやってきたフランシスコ・ザビエルはバスク地方の出身であることも知られている。

スペイン北部には日本人に未だ知られていない多くの魅力があるようだ。

Pereiroさんの話を聞いて、北部にも行ってみようと思った方は多いのではないだろうか。

文・写真提供　谷善三

次回開催のお知らせ

日程：2017年3月11日（土）午後2：00～3：30
ゲスト：William Álvarez さん（ペルー出身）
"Perú, Comida y Cultura Tradicional"（ペルー、その伝統の食と文化）
場所：〒662-0911 西宮市池田町11-1 フレンテ西宮 4階
（公財）西宮市国際交流協会 会議室
電話：(0798)32-8680　FAX：(0798)32-8678　E-mail：niairuka@chive.ocn.ne.jp
参加費：500円　定員：30名（先着順）
※お申し込みはお電話、FAX、E-mail にて / 2月15日（水）より受付開始

マドリード在住17年
旬のスペイン情報をお届けします

スペイン小橋 ⑨

スペインの教育事情について　** その1 **

今年の夏、マドリードでacueductoの発行人でありADELANTE主催者でもあるアレハンドロさんご夫婦にお会いしました。2年ぶりの再会に積もる話に花が咲き、楽しい数時間を過ごしたわけですが、その折に「次回の記事ではスペインの学校事情について話をしてくださいよ」というリクエストが。折しも筆者の今年6歳になった娘が小学校に上がるタイミングでもあったので、今回はスペインの教育制度についてスポットを当ててみたいと思います。

現行の法律（2013年改訂）によると義務教育は6歳～16歳まで。そのうち6歳～12歳までが「Educación Secundaria Obligatoria ―プリマリア―」と呼ばれ日本の小学校に、12歳～16歳までが「Educación Secundaria Obligatoria（一般にESO）」という日本の中学校に当たります。新学期は9月に開始し3月に終了するため、日本の義務教育と微妙な年齢の差はありますが、6歳～16歳までの教育制度はほぼ同じリズムといえます。興味深いのは、3歳～6歳までは「義務教育」ではありませんが、ほぼ全部の国立・私立の小中学校に一貫して「幼児部/Infantil」が設けられていて、今では100%の確率で皆「COLEGIO ―通称コレ―」に入学します。もちろん国公立は無償で教育を受けられるので授業料はかかりません。ただし午前中だけで、給食時間以降から夕方17、18時までは任意有料の「預かり」制度が一般的です。ですから現在のスペイン人は幼児部を含め事実上3歳～16歳まで国の定めるカリキュラムに従って教育を受けていることになります。（ちなみにこのコレという呼び名は幼児・小・中学校部に対して使われています。）

さて、義務教育といってもどの立場で語るかによって見えてくるものが異なってきます。スペインの場合、保護者に対する「子供を就学させる義務」のニュアンスが強く感じられます。一旦そのシステムの流れに入ると「履修主義かつ取得主義」が一般的な解釈とあって、6歳～7歳時のぴかぴかの1年生であっても規定のレベル以上のカリキュラム履修結果を残せなかった児童は、厳しい「原級留置」処置の対象となるのです。そんな義務教育の流れに乗るまでと子供が卒業するまで、就学前の幼児を抱える保護者にとってストレスフルかつ「なんなんだ…」と愚痴りたくなるような珍道中が始まるのですが、その詳しいお話は次回に。

<写真・上>学校開始1日目の正門の様子
<下>校庭に集まった1年生児童と保護者達。ここでクラス分けが大声で発表される。

土屋寛子 つちやひろこ ／ Hiroko Tsuchiya
マドリードに17年在住。仕事のビザで渡西、日系企業に勤務。スペイン人の夫と6歳の娘と暮らしている。
ブログ「スペインの扉」
spainnotobira.com
どうぞお越し下さい！

スペインファンをもっと増やそう！

スペインのお勧め
バール・レストラン
Bares y restaurantes recomendables

Vol.14

El Subastero de Málaga

エル・スバステロ デ マラガ

(Madrid / マドリード)

太陽、地中海、ビーチ。アンダルシアのマラガといえば、真っ先にイメージするのはコスタ・デル・ソル（太陽海岸）の美しい風景だろう。そして、食いしん坊にとっては欠かせないものがもう一つ。そんな美しい海辺で食べるエスペトだ。

エスペトとは、イワシなどを串に刺し岩塩を振り、ビーチの砂に刺して炭火で焼いたもので、浜辺のチリンギート (屋台) やタベルナ (大衆食堂) などで出されるマラガ名物の一つである。非常にシンプルだが、ビールや冷やした白ワインに合う人気の料理だ。

そんなマラガのビーチでの定番を、そのままマドリードの街中で体験できるバルが、今回紹介するエル・スバステロ・デ・マラガだ。

曽祖父の代からマラガで食堂を営んでいた一族が 4 年ほど前にマドリードのソル近くにオープンした店舗は、まるでマラガの漁師町のタベルナをそのまま移転してきたかのような雰囲気だ。食堂の奥には、砂を敷き炭火を載せた小船があり、イワシのエスペト (8€) は、注文を受けてからここで焼く。焼きたてにレモンをかけていただこう。

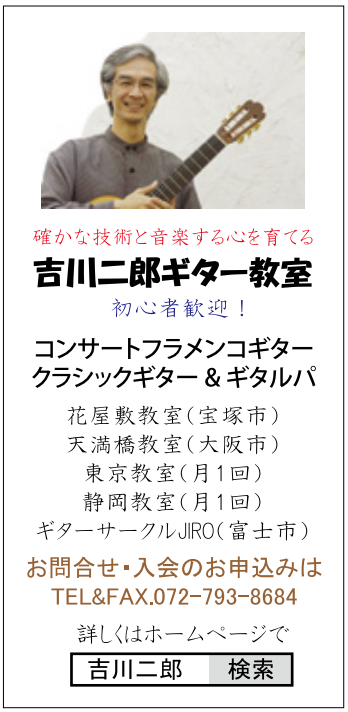
追加でつまむなら、その他の魚介類もお勧めだ。ニンニク・オリーブオイル・塩・パセリ・白ワインで鉄板焼きにしたコキーナ (14€) は、日本ではあまり見ない貝だが、小ぶりなわりに味が濃厚で美味しい。ぜひパンと一緒にスープまで味わって欲しい。イカやタコなどのフリート (フライ 各 8€) も欠かせない定番タパスで、ビールにも白ワインにも合う。

1 イワシを焼く炭火焼用の小船　2 イワシのエスペト（炭火串焼き）　3 陽気で親切なスタッフ　4 タコのフリート（フライ）5 濃厚なスープを楽しめるコキーナ貝の鉄板焼き 6 マラガの漁師町の情緒があふれる店内

中村 美和 なかむら みわ / Miwa Nakamura
情報工学修士、三菱電機にてモバイル端末開発に携わる。2007年より単身渡西し、マドリードにてCROSSMEDIA　WORKS,S.L. を起業。主に観光関連企業や観光局向けのウェブシステム開発、ソーシャルメディア・SEOなどのインターネット戦略コンサルを請負う傍ら、企業向けリサーチ、「地球の歩き方」などの観光ガイドブック、雑誌の取材、日本食・日本食材普及プロモーション「Taste of Japan」のスペインでのコーディネイトを担当。
マドリード情報サイト todomadrid.info や海外在住ジャーナリストらと共に SpeakupOverseas.netなどを運営中。 @n_miwa @spain_go

Información

El Subastero de Málaga (エル・スバステロ デ マラガ)
住所：Carrera de S. Jerónimo, 32, 28014 Madrid
電話：+34 911 56 89 13
HP：http://elsubasterodemalaga.es/
※上記情報は、2017年2月時点のもので変更する可能性があります。



acueductoに
広告を掲載しませんか?

「スペイン情報誌acueducto」は今年で創刊6周年。
スペイン大使館などの公共施設、スペイン語学科のある大学などの教育機関、またレストランやバルなど、日本全国のスペインに関する施設に配布しています。

✓料金

1コマ (4.5cm×4.5cm)
¥5,000-/掲載1回分 ¥18,000-/掲載4回分

【料金例】
• 4コマ (4.5cm×18.9cm)
掲載料(1回分)¥20,000 掲載料(4回分)¥72,000
12コマ (1/2頁 14.1cm×18.9cm)
掲載料(1回分)¥60,000 掲載料(4回分)¥216,000

✓お申込み
ご希望のサイズ・掲載希望号をご連絡ください。
※広告の掲載場所を指定することはできません。

サイズ・料金は下記サイトより確認できます
www.acueducto.jp/publicidad

【お問合せ・お申込み先】
有限会社ADELANATE
Tel:06-6346-5554 Email: info@acueducto.jp

International House Valencia

ESPAÑOLÉ
MUCHO MÁS QUE ESPAÑOL

イメージできますか?
バレンシアで最高の留学

フレンドリーな雰囲気と中規模サイズの学校、
歴史的な町の中心に2つの近代的な校舎がある、
様々なニーズや年齢の方に合わせたスペイン語コース、
教師はネイティブスピーカーと大学の卒業生、
58カ国以上からの学生たち、
スペイン語コースで大学の単位を取得できるコースあり、
年間300日以上の晴天日、
芸術科学都市の現代建築、
どこまでも続くビーチ、
安全で良好な治安。

エスパニョレ・インターナショナルハウス・バレンシアは最高のスペイン語教育を行うフレンドリーな学校です。当校は**International House World Organization**のメンバーで、**Instituto Cervantes**の認可を得ています。

DELE試験合格率90パーセント以上

私たちの**DELEコース**は、セルバンテス文化センターが運営している国際的に知名度の高い検定試験DELEの準備をしたい学生のために特別に用意されています。

Instituto Cervantes
Centro Acreditado

セルバンテス文化センターは、言語教育の研究機関であり、スペイン語圏の言語および文化を世界に推進する政府機関です。

C/ Pizarro, 10 - 46004 Valencia, Spain
C/ de La Nave, 22 - 46003 Valencia, Spain

Tel.: +34 96 353 04 04 | www.espanole.es | info@ihvalencia.com

スペイン留学.jp

スペイン&中南米への留学サポート

留学相談、手続き代行無料サービス

- 学校への出願サポート
- 学生ビザ申請書記入のお手伝い
- 留学費用の海外送金
- ホームステイ、寮、又はシェアフラット、アパート等の申込み
- 空港出迎えサービスなど、各種オプションサービスの依頼代行

安心して出発できるよう、全力でサポートいたします

1週間のプチ留学から長期プログラムまで、色々な目的に合わせて豊富にラインアップ。あなたにぴったりの留学スタイル選び、入学手続きまで無料でお手伝いいたします。言葉に自信がなく、学校とのやり取りが不安な方も大丈夫。入学申請書類の作成や必要な書類の送付、留学費用の海外送金などは全て代行いたします。

お問合せはこちらから
www.spainryugaku.jp
info@spainryugaku.jp

大阪本社 06-6346-5554　東京 03-6869-6435
名古屋 052-766-6406　福岡 092-517-9535

A1
入門者向けスペイン語テキスト
Avanzamos
1,944円(税込)
☑オールカラー／CD付
☑プライベートレッスン グループクラス 両方で使用可能
www.adelante shop.jp

スペイン語 ADELANTE

www.adelante.jp

お問合せ
info@adelante.jp
TEL:06-6346-5554

大阪市北区梅田2-5-8千代田ビル西別館2F FAX:06-6110-5122

日本とスペインをつなぐ無料スペイン情報誌
[アクエドゥクト] 発行元
Asociación Cultural Española スペイン文化協会

スペイン語教室 ADELANTE

「私のスペイン語、通じた♪」を実感

無料体験レッスン随時実施中！
お気軽にお問合せ下さい。

- ●ネイティブ講師だからプチ留学気分で自然なスペイン語をマスター
- ●定員6名までの少人数制グループレッスン
- ●ヨーロッパ共通参照枠CEFのレベルに即したカリキュラム
- ●振替ができるので忙しくても安心
- ●楽しい交流パーティーや文化イベントでスペイン語仲間がいっぱい
- ●目的やペースに合わせて選べるコース
  (一般・旅行・商業・DELE検定対策・プライベート・スペイン語の本を読むコースetc.)

スペイン語の本&雑貨

オンラインショップ アデランテ
ADELANTE
www.adelanteshop.jp

学習テキスト、文法問題集、レベル別副読本、D.E.L.E.試験対策本、絵本など各種取り扱っています。

送料全国一律280円。
8,000円以上のお買い上げで送料無料！